

北・北海道中央圏域 定住自立圏共生ビジョン

平成 29 年 3 月策定

平成 30 年 2 月第 1 回変更

平成 31 年 2 月第 2 回変更

令和 2 年 2 月第 3 回変更

令和 3 年 3 月第 4 回変更

令和 4 年 3 月第 5 回変更

名寄市 士別市

目 次

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

- 1 定住自立圏構想の概要とこれまでの取り組み…………… 1
- 2 定住自立圏の名称及び構成市町村…………… 1
- 3 定住自立圏共生ビジョンの目的…………… 1
- 4 定住自立圏共生ビジョンの期間…………… 1
- 5 成果指標（K P I）等の設定…………… 1

第2章 圏域の概況

- 1 圏域市町村の概況…………… 2
- 2 人口等の推移…………… 9
- 3 産業別就業者数の推移…………… 11
- 4 観光入込客数…………… 13
- 5 都市機能の利用状況…………… 13
- 6 都市機能の集積状況…………… 14

第3章 圏域の将来像…………… 16

第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組み

- 1 共生ビジョンの体系…………… 17
- 2 具体的な事業と内容…………… 20

資 料

- 北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン策定経過…………… 72
 - 北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱…………… 75
 - 北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿…………… 77
-

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

1 定住自立圏構想の概要とこれまでの取り組み

定住自立圏構想は、圏域の中心的な役割を担う中心市と圏域町村が、相互に役割分担して連携・協力することにより、地域資源を活かした魅力ある地域づくりと安心して暮らせる地域社会の形成を目的とする自治体間連携の取り組みです。

本圏域の定住自立圏構想の推進にあたっては、平成21年度から上川管内北部9市町村が情報収集・意見交換を行い、平成22年度からはオホーツク・宗谷管内の4町村が加わって調査検討を進めてきました。

名寄市及び士別市は、平成23年3月28日、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する複眼型としての「中心市宣言」を行い、圏域町村と定住自立圏形成に関する取り組み内容等について協議を行ってきました。

その結果、基本的な考え方がまとまったことから、定住自立圏形成協定について各市町村議会の議決を経て、同年9月30日、名寄市及び士別市と圏域11町村それぞれとの間で、2対1の協定を締結しました。

平成24年度から平成28年度までの共生ビジョンでは、圏域で連携することができる事業について具体的に示し、取り組みを進めてきました。その共生ビジョンの期間が終了したことから、さらに連携した取り組みを深化させるべく、成果指標（KPI）等を盛り込んだ新たな共生ビジョンを策定いたしました。

2 定住自立圏の名称及び構成市町村

(1) 定住自立圏の名称

北・北海道中央圏

(2) 定住自立圏の構成市町村

名寄市、士別市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、西興部村、枝幸町、浜頓別町、中頓別町

3 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）第6の規定により、圏域の将来像や協定に基づき圏域市町村が連携して推進する具体的な取り組み内容を明らかにするものです。

4 定住自立圏共生ビジョンの期間

本共生ビジョンの期間は、平成29年度から令和3年度までの5年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

5 成果指標（KPI）等の設定

本圏域において、定期的に取り組の成果を把握、検証し、より効率的に施策や事業を進めていくために、成果指標（KPI）等を設定します。



士別市

人口：17,858人
面積：1,119.22km²

士別市は、北海道第2の大河「天塩川」の源流部に位置し、豊かな水と肥沃なみどりの大地のもと、農業と林業を基幹産業として発展してきた田園都市です。

基幹産業とともに、黒い顔と手足が特徴のサフォーク種羊を活かしたまちづくりをすすめており、羊肉や羊毛の活用など、さまざまな取り組みから「羊」に関する新たな可能性を探求しています。

夏の冷涼でさわやかな気候や冬の雪と寒さなどの豊かな自然環境のもと、スポーツや文化活動など、「合宿の里」として、多くの人々が合宿に訪れています。

冬季は、「自動車等試験研究のまち」として、積雪寒冷な自然条件や風土のもと、自動車やタイヤ、スノーモビルなどの試験研究が数多く行われています。

【特産品・グルメ】

- 士別サフォークラム(羊肉)、加工品
- サフォーク丼・サフォークスープカレー
- サフォークニット製品
- 天然液状甘味料「ビートオリゴ」
- 顆粒片栗粉「とろみちゃん」
- 天サイダー

【観光名所】

- 羊と雲の丘(羊飼いの家、世界のめん羊館、めん羊工芸館「くるるん」)
- 道の駅「羊のまち 侍・しべつ」
- 道立自然公園「天塩岳」
- 岩尾内湖白樺キャンプ場



サフォーク羊



和寒町

人口：3,192人
面積：225.11km²

和寒町は、北海道の二大水系石狩川と天塩川の分水嶺「塩狩峠」の麓に広がり、東、西、南の三方を比較的低い山岳に囲まれた自然の恵み豊かなまちです。越冬キャベツ発祥のまちでもあり、「和寒越冬キャベツ」は商標登録され、道内各地へ出荷されています。

基幹産業である農業の振興をはじめ、地場産業の育成や地域資源を活用した観光事業、新たな特産物「ペポかぼちゃ」の振興、子育て・教育環境の充実に力を入れ、町民が主体となったまちづくりを推進しています。

また、「町民皆スポーツ」を目指して「スポーツのまち」を宣言し、スポーツを通じた地域間交流や世代を超えたコミュニティ活動の取り組みを進めています。

【特産品・グルメ】



- 越冬キャベツ
- かぼちゃ
- わっさむトマトジュース
- かぼちゃペースト
- 地獄鍋
- 和寒ジンギスカン
- ペポかぼちゃ



【観光名所】

- 塩狩峠記念館
- 塩狩峠一目千本桜
- 三笠山自然公園
- 南丘森林公園
- 夫婦岩
- 総合運動公園
- 東山スキー場



塩狩峠記念館

	<p>剣淵町</p> <p>人口：2,926人 面積：130.99km²</p>	<p>【特産品・グルメ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スモークドチキン ○野菜ジュース ○屯田三色めん ○でんぶん ○陶器 ○さをり織り ○じゃがいも ○わらび餅 <p>【観光名所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵本の館 ○アルパカ牧場 ○剣淵温泉レークサイド桜岡 ○道の駅「絵本の里けんぶち」
<p>剣淵町は、北海道の中央よりやや北に位置し、士別市・和寒町と隣接しています。</p> <p>本町は名寄盆地の南部に属し、東部は丘陵地帯、中央部は低地帯、西部は山岳地帯となっており、町の中央を天塩川の支流である剣淵川が流れています。</p> <p>基幹産業は農業で、主要な作物は、米をはじめ、小麦、豆類、じゃがいもなどで、特にじゃがいもは、食用のほか、本町にある上川北部合理化澱粉工場ですでに粉に精選され、加工用として出荷されています。</p> <p>絵本の里けんぶちは、豊かな感性を育み心と心を結ぶまちづくりと行政と町民が一体となった協働のまちづくりを進めています。</p>		 <p style="text-align: center;">絵本の館</p>

	<p>下川町</p> <p>人口：3,126人 面積：644.20km²</p>	<p>【特産品・グルメ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手延べ麺 ○とまとジュース「ふるさとの元気」 ○フブの森シリーズ（トドマツオイル） ○下川六〇酵素卵 <p>【観光名所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○桜ヶ丘公園（万里長城、ふるさと交流館、ガーデニング・フォレスト「フレペ」、万里長城パークゴルフ場） ○五味温泉、五味温泉体験の森 ○サンルダム
<p>下川町は、古くから林業が盛んで、これまで取り組んできた「循環型森林経営」による適切な森林管理を基盤に、持続可能な地域づくりに対する取り組みが評価され、第1回ジャパンSDGsアワードで内閣総理大臣賞を受賞しています。</p> <p>アイスクャンドル発祥の地であり、毎年2月に町中が琥珀色に輝く幻想的な世界を作り出すアイスクャンドルミュージアムを開催、5月には万里長城祭、8月にはうどん祭りを開催し、多くの人が訪れています。</p> <p>また、世界で活躍するスキージャンプ選手を数多く輩出しており、代表選手には、葛西紀明選手、伊東大貴選手、伊藤有希選手がいます。</p>		 <p style="text-align: center;">アイスクャンドル</p>



美深町

人口：4,145人
面積：672.09km²

美深町は、明治32年に開拓の鉞が下ろされ、農業と林業を基幹産業に発展しました。

天塩川流域にひろがる沃野と広大な森林に囲まれ、北部には360度の大自然が広がる景観ポイント「函岳(1,129m)」、仁宇布地区には真夏でも6℃と冷たくおいしい「仁宇布の冷水」や、走る森林浴「トロッコ王国」があり、多くの観光客が心と体のリフレッシュに訪れています。

「未来へ続く 笑顔あふれるまち 美深」を合言葉に、美しい自然環境と地域の特性を最大限に生かした美深らしさが誇れるまちづくりを目指し、町民と共に一丸となって取り組んでいます。

【特産品・グルメ】

- ばれいしょ ○くりかぼちゃ
- 美深牛 ○チーズ
- トマトジュース「太陽の水」
- シラカバ樹液「森の雫」
- 羊乳製品
- キャビア・チョウザメ料理
- ピウカ・ボッチャ
- クラフトビール

【観光名所】

- 美深アイランド ○びふか温泉
- チョウザメ館 ○松山湿原
- 仁宇布の冷水・十六滝 ○函岳
- トロッコ王国



日本最北の高層湿原「びふか松山湿原」



音威子府村

人口：706人
面積：275.63km²

音威子府村は道内で一番人口の少ない自治体で、チセネシリ(音威富士)の秀峰を仰ぎ、道内第二の長流・天塩川の清流に育まれた、畑作・酪農を基幹産業とする村です。総面積の86%を緑深き森林が占め、春は山菜採り、夏は魚釣り、秋は紅葉狩り、冬はスキーと自然のフィールドを思う存分楽しむことができます。豊富な木材を利用した木工体験や、木を素材とした芸術作品の鑑賞などスローライフを手にも可能です。道内屈指の豪雪地であることから、クロスカントリースキー合宿の里として定着しております。また、北海道命名の地として、自然と共生し、道北交通の要衝地として「大好き音威子府～森と共いきいき輝く地域を目指して」を合い言葉に、住民総意による村づくりに取り組んでいます。

【特産品・グルメ】

- 木材工芸品 ○味噌 ○羊羹
- 名物音威子府そば ○咲来そば
- 乾麺初芽むらおこし ○蜂蜜

【観光名所】

- 北海道命名の地
- エコミュージアムおさしまセンターアトリエ3モア
- 山村都市交流センター「木遊館」
- 音威富士スキー場
- チセネシリクロスカントリースキーコース
- 住民保養センター天塩川温泉
- 旧天北線・鉄道資料室





中川町

人口：1,528人
面積：594.74km²

北海道最北端の稚内市から約90km南に位置し、四方を山に囲まれています。西は日本海、東はオホーツク海へ車で約40分で行くことができる北・北海道のほぼ中心に位置しています。町の中央を流れる国内4番目の大河『天塩川』は北海道遺産にも認定され、春から秋にかけては釣り・カヌーなどを満喫できます。

また、冬は川面が結氷する神秘的な現象が起こり、春に向けて解氷する時期を予想する『天塩川 春・発信inなかがわ』を開催しています。

さらに、「他の地域」との交流や「なかがわ暮らし」の魅力を発信し、交流人口の拡大に努め、中川町の「すばらしさ」が実感できる「居住環境づくり」と「移住者の受け入れ」に取り組んでいます。

【特産品・グルメ】

- ポンピラウインナー・ポンピラフランクフルト
- ハスカップジャム
- ぎょうじゃにんにくパウダー・ギョウジャニンニク入りたれ

【観光名所】

- ナポートパーク（オートキャンプ場）
- エコミュージアムセンター（自然誌博物館）
- ポンピラアクアリズイング



丸太押し相撲大会



幌加内町

人口：1,370人
面積：767.04km²

「人に自然にやさしい故郷づくり」をテーマに施策を進めている幌加内町は、日本一のそばの作付面積を誇り、湛水面積が日本最大の人造湖「朱鞠内湖」やマイナス41.2度の日本最寒記録をもつ3つの日本一がある町です。

夏には幌加内の盆地一面にそばの白い花が咲き誇り、9月の初めには毎年、人口が約1,370人の町に二日間で40,000人が集まる「新そば祭り」が開催され、全国各地のそばを堪能できます。

冬には一面の真っ白な銀世界が広がる朱鞠内湖で、ワカサギの氷上穴釣りに多くの釣り客で賑わいを見せています。

【特産品・グルメ】

- そば ○もち米 ○そば蜂蜜
- そばパウンドケーキ ○そば焼酎
- サクッと！ワカサギ

【観光名所】

- 道立自然公園朱鞠内湖（キャンプ場）
- そば花畑 ○ほろたちスキー場
- せいわ温泉ルオント
- 政和アートFes
- 三頭山 ○ピッシリ山



幌加内そばロード



西興部村

人口：1,053人
面積：308.08km²

西興部村は、日本で唯一流氷の接岸するオホーツク海より25キロメートル内陸に有り、冬はマイナス20度を、夏は30度になる日もあるなど、自然条件の厳しい中で、酪農を主産業とする小さな村です。

豊かな自然に見守られながら、住んでいる人が安心して生涯を送り、訪れる人の心が癒される理想的な村づくりをめざし、これまで築き上げられてきた基盤の上に立って、村民がさらに生き活きと躍動し、地域がよりいっそう希望に満ちた、『村民の夢叶うむらづくり』の実現を基本理念として取り組みを進めています。

【特産品・グルメ】

- まつたけ焼酎 ○山菜 ○鹿肉
- 村長ラーメン

【観光名所】

- 氷のトンネル ○行者の滝
- 赤岩の滝 ○黒岩の滝
- ウエンシリ岳 ○森の美術館「木夢」
- 日本庭園「興樂園」
- フラワーパーク「花夢」
- 森林公園 ○鹿牧場



森の美術館「木夢」



枝幸町

人口：7,565人
面積：1,115.93km²

枝幸町は、森と海のつながりや豊かな自然の恵みを生かした産業の振興等により、多面的なまちづくりをしています。

四方を山稜で囲まれた歌登地区では、温泉付きホテルやコテージ、ゴルフ場などが整備された健康回復村で心身のリフレッシュができます。

延長58kmに達するオホーツク海に面した枝幸地区では、海明けとともに始まるタラバガニや漁獲量日本一の毛ガニが、枝幸町の名前を全国的にアピールする特産品となっており、毎年7月には「枝幸かにまつり」が開催され、道内外からの観光客で賑わいます。

【特産品・グルメ】

- 毛ガニ ○ホタテ（干貝柱、玉冷、ソフト）
- サケ（新巻、イクラ、とば）
- 山菜の佃煮・風味漬、水煮加工品
- 木イチゴとハスカップのジャム
- うたのぼりだんご（じゃがいも・かぼちゃ）

【観光名所】

- 神威岬 ○ウスタイベ千畳岩
- うたのぼり健康回復村
- 三笠山展望閣
- 道の駅マリーンアイランド岡島
- オホーツクミュージアムえさし



名勝「神威岬」と「流氷」



浜頓別町

人口：3,448人
面積：401.64km²

ラムサール条約登録湿地であるクッチャロ湖は、毎年、コハクチョウやその他の水鳥が数多く飛来し、優雅な姿を披露する名所として知られ、北オホーツク道立自然公園の中心地ベニヤ原生花園では、ハマナスをはじめ、エゾカンゾウやヒオウギアヤメなど100種以上もの花々が咲き乱れ、彩り鮮やかな大地とオホーツクブルーの海が一度に楽しめます。また、湖を一望できる天然温泉「美人の湯」が、旅の疲れを癒してくれます。

天北地域酪農基地として発展している酪農とサケ・ホタテ・毛がに等の漁獲を主体とした漁業を基幹産業とする自然豊かな町です。

【特産品・グルメ】

- 毛ガニ ○ホタテ貝 ○メジカ鮭
- 鮭とば ○ほたてみみ三升漬
- 松の実最中 ○砂金パイ
- チーズプリン ○ペレアイス
- ミルクジャム ○鮭まんじゅう

【観光名所】

- クッチャロ湖 ○ベニヤ原生花園
- ウソタンナイ砂金採掘公園
- 神威岬 ○クローバーの丘



水鳥の楽園「クッチャロ湖」



中頓別町

人口：1,637人
面積：398.51km²

北緯45度に位置するここ中頓別町は、自然豊かな緑と水に恵まれた山あいの町です。

町の中央にそびえたつ敏音知（ピンネシリ）岳山頂からは360度の絶景を眺望したり、学術的にも貴重で北海道天然記念物に指定されている中頓別鍾乳洞は貝殻石灰岩で形成された珍しく貴重な鍾乳洞があります。また、山女魚（ヤマメ）が棲むペーチャン川では、楽しく砂金掘りが体験できるなど、地域資源を活かし豊かな自然と共生する「一流の中頓別（いなか）づくり」を進めています。

四季折々の表情が感じられる、少し贅沢な時間をすごせる場所…それが中頓別町です。

【特産品・グルメ】

- チーズ各種 ○はちみつ各種
- 中頓別銘菓（砂金ようかん、ゴールドタウンほか）
- 宗谷の割箸 ○砂金ラーメン
- 砂金グッズ

【観光名所】

- 中頓別鍾乳洞 ○ピンネシリ温泉
- オートキャンプ場
- ペーチャン川砂金掘体験場
- 敏音知岳 ○各種アウトドア体験
- 農園体験施設



ペーチャン川砂金掘体験

2 人口等の推移

(1) 人口の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減 (H7-R2年)	
							増減	増減率
名 寄 市	34,664	33,328	31,628	30,591	29,048	27,282	△ 7,382	△ 21.30%
士 別 市	26,403	24,991	23,411	21,787	19,914	17,858	△ 8,545	△ 32.36%
和 寒 町	5,002	4,710	4,238	3,832	3,596	3,192	△ 1,810	△ 36.19%
剣 淵 町	4,466	4,158	3,952	3,565	3,228	2,926	△ 1,540	△ 34.48%
下 川 町	4,747	4,413	4,146	3,775	3,547	3,126	△ 1,621	△ 34.15%
美 深 町	6,540	6,040	5,512	5,178	4,659	4,145	△ 2,395	△ 36.62%
音威子府村	1,480	1,334	1,070	995	832	706	△ 774	△ 52.30%
中 川 町	2,602	2,464	2,106	1,907	1,767	1,528	△ 1,074	△ 41.28%
幌 加 内 町	2,414	2,217	1,952	1,710	1,525	1,370	△ 1,044	△ 43.25%
西 興 部 村	1,253	1,314	1,224	1,135	1,116	1,053	△ 200	△ 15.96%
枝 幸 町	11,144	10,509	9,815	9,125	8,437	7,565	△ 3,579	△ 32.12%
浜 頓 別 町	5,224	4,957	4,582	4,168	3,881	3,448	△ 1,776	△ 34.00%
中 頓 別 町	2,754	2,518	2,289	1,974	1,757	1,637	△ 1,117	△ 40.56%
合 計	108,693	102,953	95,925	89,742	83,307	75,836	△ 32,857	△ 30.23%

[資料：国勢調査]

(2) 世帯数の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減 (H7-R2年)	
							増減	増減率
名 寄 市	12,823	13,130	13,069	13,348	13,086	12,810	△ 13	△ 0.10%
士 別 市	9,409	9,449	9,398	9,100	8,650	8,184	△ 1,225	△ 13.02%
和 寒 町	1,719	1,814	1,646	1,601	1,533	1,429	△ 290	△ 16.87%
剣 淵 町	1,403	1,414	1,422	1,329	1,330	1,227	△ 176	△ 12.54%
下 川 町	1,837	1,809	1,771	1,685	1,672	1,473	△ 364	△ 19.81%
美 深 町	2,379	2,324	2,218	2,194	2,041	1,912	△ 467	△ 19.63%
音威子府村	619	569	457	486	411	347	△ 272	△ 43.94%
中 川 町	1,046	1,076	950	926	897	822	△ 224	△ 21.41%
幌 加 内 町	918	877	830	780	690	667	△ 251	△ 27.34%
西 興 部 村	498	555	531	516	501	499	1	0.20%
枝 幸 町	4,097	4,161	4,021	3,952	3,772	3,515	△ 582	△ 14.21%
浜 頓 別 町	1,975	1,997	1,960	1,868	1,845	1,716	△ 259	△ 13.11%
中 頓 別 町	997	970	927	817	775	756	△ 241	△ 24.17%
合 計	39,720	40,145	39,200	38,602	37,203	35,357	△ 4,363	△ 10.98%

[資料：国勢調査]

(3) 年少人口 (15才未満) の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減 (H7-R2年)	
							増減	増減率
名 寄 市	5,392	4,585	4,064	3,767	3,453	3,018	△ 2,374	△ 44.03%
士 別 市	3,885	3,291	2,890	2,584	2,066	1,652	△ 2,233	△ 57.48%
和 寒 町	674	510	458	400	360	308	△ 366	△ 54.30%
剣 淵 町	621	516	434	385	307	279	△ 342	△ 55.07%
下 川 町	593	473	411	365	350	316	△ 277	△ 46.71%
美 深 町	930	787	631	548	431	369	△ 561	△ 60.32%
音威子府村	256	188	108	53	45	44	△ 212	△ 82.81%
中 川 町	401	326	244	176	183	140	△ 261	△ 65.09%
幌加内町	300	228	195	193	154	120	△ 180	△ 60.00%
西興部村	195	146	130	109	119	104	△ 91	△ 46.67%
枝 幸 町	1,894	1,560	1,373	1,174	990	790	△ 1,104	△ 58.29%
浜頓別町	908	738	600	504	416	312	△ 596	△ 65.64%
中頓別町	357	301	261	207	158	160	△ 197	△ 55.18%
合 計	16,406	13,649	11,799	10,465	9,032	7,612	△ 8,794	△ 53.60%

[資料：国勢調査]

(4) 生産年齢人口 (15~64才) の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減 (H7-R2年)	
							増減	増減率
名 寄 市	23,166	21,624	19,682	18,597	16,755	15,232	△ 7,934	△ 34.25%
士 別 市	17,044	15,503	13,756	12,069	10,384	8,803	△ 8,241	△ 48.35%
和 寒 町	3,002	2,768	2,303	1,927	1,854	1,470	△ 1,532	△ 51.03%
剣 淵 町	2,781	2,482	2,316	1,978	1,733	1,451	△ 1,330	△ 47.82%
下 川 町	2,977	2,624	2,353	2,032	1,827	1,514	△ 1,463	△ 49.14%
美 深 町	4,216	3,700	3,175	2,870	2,495	2,075	△ 2,141	△ 50.78%
音威子府村	980	871	690	696	558	432	△ 548	△ 55.92%
中 川 町	1,667	1,521	1,199	1,066	958	770	△ 897	△ 53.81%
幌加内町	1516	1,339	1,118	897	774	691	△ 825	△ 54.42%
西興部村	716	782	711	643	630	576	△ 140	△ 19.55%
枝 幸 町	7,246	6,638	5,977	5,375	4,729	4,078	△ 3,168	△ 43.72%
浜頓別町	3,459	3,221	2,876	2,516	2,219	1,831	△ 1,628	△ 47.07%
中頓別町	1,782	1,585	1,361	1,057	918	822	△ 960	△ 53.87%
合 計	70,552	64,658	57,517	51,723	45,834	39,745	△ 30,807	△ 43.67%

[資料：国勢調査]

(5) 老年人口 (65 才以上) の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減 (H7-R2年)	
							増減	増減率
名 寄 市	6,103	7,119	7,880	8,227	8,794	8,747	2,644	43.32%
士 別 市	5,474	6,197	6,763	7,134	7,451	7,350	1,876	34.27%
和 寒 町	1,326	1,431	1,477	1,505	1,382	1,414	88	6.64%
剣 淵 町	1,064	1,160	1,202	1,202	1,188	1,196	132	12.41%
下 川 町	1,177	1,316	1,382	1,378	1,370	1,257	80	6.80%
美 深 町	1,394	1,553	1,706	1,760	1,728	1,699	305	21.88%
音威子府村	244	275	272	246	229	208	△ 36	△ 14.75%
中 川 町	534	617	663	665	626	593	59	11.05%
幌加内町	598	650	638	620	597	559	△ 39	△ 6.52%
西興部村	342	386	383	383	367	373	31	9.06%
枝 幸 町	2,004	2,311	2,465	2,576	2,718	2,696	692	34.53%
浜 頓 別 町	857	998	1,106	1,148	1,246	1,293	436	50.88%
中 頓 別 町	615	632	667	710	680	655	40	6.50%
合 計	21,732	24,645	26,604	27,554	28,376	28,040	6,308	29.03%

[資料：国勢調査]

3 産業別就業者数の推移

(1) 第1次産業就業者数の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減 (H7-H27年)	
							増減	増減率
名 寄 市	2,680	2,353	2,294	1,837	1,666	-	△ 1,014	△ 37.84%
士 別 市	3,161	2,576	2,345	2,013	1,730	-	△ 1,431	△ 45.27%
和 寒 町	1,112	1,007	872	743	618	-	△ 494	△ 44.42%
剣 淵 町	1,365	1,075	951	780	750	-	△ 615	△ 45.05%
下 川 町	578	407	396	437	399	-	△ 179	△ 30.97%
美 深 町	939	773	730	577	546	-	△ 393	△ 41.85%
音威子府村	121	97	61	54	55	-	△ 66	△ 54.55%
中 川 町	332	259	223	195	182	-	△ 150	△ 45.18%
幌加内町	527	376	346	306	264	-	△ 263	△ 49.91%
西興部村	164	106	105	99	110	-	△ 54	△ 32.93%
枝 幸 町	1,422	1,259	1,146	1,170	1,141	-	△ 281	△ 19.76%
浜 頓 別 町	510	450	424	404	390	-	△ 120	△ 23.53%
中 頓 別 町	322	229	208	167	152	-	△ 170	△ 52.80%
合 計	13,233	10,967	10,101	8,782	8,003	-	△ 5,230	△ 39.52%

[資料：国勢調査]

(2) 第2次産業就業者数の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減 (H7-H27年)	
							増減	増減率
名 寄 市	3,375	3,117	2,089	1,737	1,612	-	△ 1,763	△ 52.24%
士 別 市	3,462	3,110	2,311	1,765	1,655	-	△ 1,807	△ 52.20%
和 寒 町	577	567	338	255	240	-	△ 337	△ 58.41%
剣 淵 町	342	359	325	210	199	-	△ 143	△ 41.81%
下 川 町	763	596	443	381	414	-	△ 349	△ 45.74%
美 深 町	822	649	372	279	283	-	△ 539	△ 65.57%
音威子府村	219	141	64	134	81	-	△ 138	△ 63.01%
中 川 町	512	489	246	278	286	-	△ 226	△ 44.14%
幌加内町	205	183	103	95	81	-	△ 124	△ 60.49%
西興部村	165	202	114	111	99	-	△ 66	△ 40.00%
枝 幸 町	1,813	1,717	1,360	1,250	1,162	-	△ 651	△ 35.91%
浜頓別町	846	781	672	545	512	-	△ 334	△ 39.48%
中頓別町	296	279	180	115	113	-	△ 183	△ 61.82%
合 計	13,397	12,190	8,617	7,155	6,737	-	△ 6,660	△ 49.71%

[資料：国勢調査]

(3) 第3次産業就業者数の推移

(単位：人)

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減 (H7-H27年)	
							増減	増減率
名 寄 市	11,734	11,629	11,409	11,104	10,652	-	△ 1,082	△ 9.22%
士 別 市	7,302	7,097	6,750	6,401	5,805	-	△ 1,497	△ 20.50%
和 寒 町	1,062	1,035	1,033	921	892	-	△ 170	△ 16.01%
剣 淵 町	896	877	896	890	859	-	△ 37	△ 4.13%
下 川 町	1,160	1,218	1,092	989	931	-	△ 229	△ 19.74%
美 深 町	1,802	1,711	1,678	1,523	1,465	-	△ 337	△ 18.70%
音威子府村	412	406	352	304	285	-	△ 127	△ 30.83%
中 川 町	678	673	615	518	519	-	△ 159	△ 23.45%
幌加内町	592	588	567	474	442	-	△ 150	△ 25.34%
西興部村	324	359	380	335	341	-	17	5.25%
枝 幸 町	2,892	2,784	2,568	2,465	2,255	-	△ 637	△ 22.03%
浜頓別町	1,535	1,533	1,386	1,190	1,153	-	△ 382	△ 24.89%
中頓別町	752	771	679	604	582	-	△ 170	△ 22.61%
合 計	31,141	30,681	29,405	27,718	26,181	-	△ 4,960	△ 15.93%

[資料：国勢調査]

4 観光入込客数（令和2年度）

（単位：人）

市町村名	入込総数				
		内道外客	内道内客	内日帰客	内宿泊客
名寄市	249,000	26,100	222,900	204,600	44,400
士別市	289,900	45,300	244,600	239,000	50,900
和寒町	36,900	800	36,100	34,600	2,300
剣淵町	449,600	4,100	445,500	447,900	1,700
下川町	93,100	1,700	91,400	8,900	4,100
美深町	313,300	65,300	248,000	300,600	12,700
音威子府村	51,000	5,000	46,000	46,900	4,100
中川町	79,800	3,900	75,900	75,700	4,100
幌加内町	148,100	12,900	135,200	132,100	16,000
西興部村	18,500	2,000	16,500	14,600	3,900
枝幸町	127,500	22,300	105,200	101,200	26,300
浜頓別町	281,400	149,100	132,300	268,700	12,700
中頓別町	74,800	8,100	66,700	71,400	3,400
合計	2,212,900	346,600	1,866,300	1,946,200	186,600

[資料：北海道観光入込客数調査]

5 都市機能の利用状況

市立病院患者数（令和2年度）

（単位：人）

市町村名	名寄市立総合病院			士別市立病院		
	外来患者数	入院患者数	救急外来患者数	外来患者数	入院患者数	救急外来患者数
名寄市	126,469	37,758	4,216	1,335	945	11
士別市	17,415	12,870	840	89,616	36,663	1,713
和寒町	417	590	25	1,737	535	49
剣淵町	2,027	2,358	115	7,883	4,985	195
下川町	12,264	3,570	241	49		
美深町	14,756	5,154	329	77	12	1
音威子府村	1,054	497	73	5		
中川町	2,720	1,819	82	13		
幌加内町	298	386	13	61		3
西興部村	2,386	740	48	25		
枝幸町	8,273	6,122	241	44		
浜頓別町	3,641	2,006	84	1		
中頓別町	2,751	2,091	67			
合計	194,471	75,961	6,374	100,846	43,140	1,972

[資料：各市立病院]

6 都市機能の集積状況

名寄市、士別市における公共施設等による各種サービス機能、医療機能、商業・娯楽機能その他の行政及び民間分野に係る都市機能の集積状況は、概ね次のとおりです。

[R4.1.1現在]

分類	都市機能	名寄市	士別市
行政機関	国の機関	旭川地方検察庁名寄支部 旭川地方・家庭裁判所名寄支部 名寄簡易裁判所 名寄検察審査会事務局 旭川地方法務局名寄支局 名寄拘置支所 名寄税務署 名寄労働基準監督署 名寄公共職業安定所 旭川開発建設部名寄河川事務所 旭川開発建設部名寄農業開発事業所 陸上自衛隊名寄駐屯地	旭川開発建設部士別道路事務所 旭川開発建設部名寄河川事務所岩尾内ダム管理支所 士別河川防災ステーション 北海道森林管理局森林技術センター 名寄公共職業安定所士別出張所
	道の機関	上川総合振興局 (名寄道税事務所、保健環境部名寄社会福祉事務出張所、保健環境部名寄地域保健室、上川農業改良普及センター名寄支所、北部森林室、名寄警察署)	上川総合振興局 (旭川建設管理部士別出張所、北部耕地出張所、上川農業改良普及センター士別支所) 士別警察署
医療・福祉	医療機関	病院4機関、診療所13機関 歯科診療所15機関	病院1機関、診療所12機関 歯科診療所12機関
	公的機関	名寄市立総合病院 (救命救急センター、第2次救急医療施設、地方・地域センター病院、地域周産期母子医療センター、上川北部地域災害拠点病院、名寄東病院、名寄市風連国民健康保険診療所)	士別市立病院 (初期救急医療施設、第2次救急医療施設)
	子育て施設	保育所(市立3ヶ所、市立へき地1ヶ所、事業所内2ヶ所、認可外1ヶ所、小規模保育1ヶ所) 私立幼稚園2ヶ所 子育て支援センター3ヶ所 認定こども園3ヶ所 こども発達支援センター1ヶ所 放課後児童クラブ5ヶ所	保育所(市立3ヶ所、地域3ヶ所、事業所内1ヶ所、認可外2ヶ所) 私立幼稚園2ヶ所 認定こども園1ヶ所 子育て支援センター1ヶ所 こども通園センター1ヶ所 つどいの広場2ヶ所 放課後児童クラブ3ヶ所
	高齢者福祉入所施設	特別養護老人ホーム2ヶ所 軽費老人ホーム2ヶ所 認知症高齢者グループホーム3ヶ所 介護老人保健施設1ヶ所 住宅型有料老人ホーム7ヶ所	特別養護老人ホーム2ヶ所 養護老人ホーム1ヶ所 認知症高齢者グループホーム5ヶ所 介護老人保健施設2ヶ所 住宅型有料老人ホーム3ヶ所 介護付有料老人ホーム2ヶ所
	障害者福祉施設	障害者支援施設1ヶ所 地域活動支援センター2ヶ所	障害者支援施設1ヶ所 地域活動支援センター1ヶ所 就労継続支援B型事業所2ヶ所

	その他施設	名寄市総合福祉センター 名寄市保健センター	士別市保健福祉センター 士別市いきいき健康センター 老人保健センター
教育・文化・スポーツ	大学	名寄市立大学	
	高等学校	名寄高校（道立） 名寄産業高校（道立）	士別翔雲高校（道立） 士別東高校（市立）
	文化・社会教育施設	なよろ市立天文台きたすばる なよろ健康の森 名寄市民文化センター 市立名寄図書館 名寄市北国博物館 ふうれん地域交流センター	市民文化センター 生涯学習情報センター「いぶき」 あさひサンライズホール 市立士別図書館 士別市博物館
	スポーツ施設	名寄市スポーツセンター 名寄ピヤシリスキー場 名寄ピヤシリシャンツェ サンピラー交流館カーリングホール 名寄市宮球場	士別市総合体育館 士別市陸上競技場、ふどう野球場、 天塩川サッカー場、日向スキー場、 朝日スキー場、朝日三望台シャンツェ、 多世代スポーツ交流館
産業	商業施設	大規模商業施設 7ヶ所 (店舗面積 1,000 m ² 以上)	大規模商業施設 5ヶ所 (店舗面積 1,000 m ² 以上)
	観光施設	北海道立サンピラーパーク 道の駅もち米の里☆なよろ ふうれん望湖台自然公園	羊と雲の丘、世界のめん羊館 めん羊工芸館「くるるん」 道の駅 羊のまち 侍・しべつ 天塩岳、岩尾内湖 つくも水郷公園、ふどう運動公園
	流通施設		士別地方卸売市場
	金融機関	北星信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、 北海道労働金庫、北見信用金庫、 郵便局	北星信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、 郵便局
	その他施設	なよろ温泉サンピラー 名寄市立食肉センター FM放送A i r てっし 駅前交流プラザ「よろーな」	士別市サイクリングターミナル スポーツ合宿センター「しべつイン翠月」、 士別市林業センター「日向温泉」、 農畜産物加工体験交流工房「の〜む」 農産加工実習施設、勤労者センター
生活	消費生活相談	名寄市消費生活センター	士別市消費生活センター
交通機能	鉄道	J R 宗谷本線	J R 宗谷本線
	国道	国道 40 号、239 号	国道 40 号、239 号
	高速道路		北海道縦貫自動車道士別剣淵 IC
	長距離バス	名寄⇄札幌	名寄⇄札幌
広域施設		上川北部消防事務組合消防本部 炭化センター 衛生センター 上川北部森林組合 名寄地区広域最終処分場	士別地方消防事務組合消防本部 北ひびき農業協同組合本所 北海道中央農業共済組合上川北支所 てしおがわ土地改良区 士別地区森林組合

第3章 圏域の将来像

我が国が本格的な人口減少社会の到来を迎え、地方圏では大幅な人口減少と急激な少子高齢化が進んでいます。また、グローバル化の進展や地域経済の低迷、地方分権の推進など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しており、地域が知恵を出し、創意工夫をしながら自主的・自立的な地域づくりを進めることが強く求められています。

本圏域は、「山」「川」「海」などの美しく豊かな自然環境に恵まれており、そこで育まれた生活文化、産業や地域固有の風土のもと、中心市における都市機能と圏域町村における魅力ある資源を活かした人口定住を促進します。

具体的には、医療や福祉などの暮らしに欠かすことのできない生活機能を確保し、高齢者はもとより子育て世代の若者など、すべての地域住民が安らぎと癒しを享受し、住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らし続けることができる圏域を目指します。

また、地域経済の維持・向上を実現するため、圏域の基幹産業である農林水産業（1次産業）を中心とした産業振興を図り、付加価値を高める食品加工（2次産業）、流通販売（3次産業）による6次産業化や産業間（農商工）連携などを推進し、経済基盤の自立を目指すとともに、農山漁村が有する多種多様な地域資源を活用し、「北・北海道中央圏」ブランド化による付加価値を高め、産業振興による安定した雇用の確保と観光を起爆剤とした地域経済の振興を目指します。

さらに、圏域内外を結ぶ交通ネットワークを構築し、日常の買い物から福祉・医療、学習・文化活動、観光産業など、交流人口の拡大と圏域への人の流入を促進し、「訪れたい」「暮らしたい」など、圏域内外の人々を惹きつける潤いと賑わいのある圏域を目指します。

北・北海道中央圏は、圏域を構成する自治体が連携・協力しながら、地域資源を活かした魅力ある地域づくり、すべての住民が安心して暮らし続けられる地域社会の形成を目指します。

成果指標：圏域人口

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値(平成27年度)	目標値(令和7年度)
	圏域人口		83,307人

成果指標：圏域合計特殊出生率

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値(平成27年度)	目標値(令和7年度)
	圏域合計特殊出生率		—

成果指標：社会減の抑制

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値(平成27年度)	目標値(令和7年度)
	社会減		—

第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組み

1 共生ビジョンの体系

I 生活機能の強化に係る政策分野

1 医療

(1) 救急医療の維持・確保対策

ア 広域第2次救急医療事業

イ 救急医療啓発普及事業

(2) 圏域医療体制の充実

ア 道北北部連携ネットワーク整備事業

イ 医師等派遣事業

ウ 機能訓練事業

エ 保健・医療分野の人材育成

2 福祉

(1) 審査会業務の連携

ア 介護認定審査会共同設置事業

イ 障害支援区分認定審査会共同設置事業

(2) 福祉体制の充実

ア 障害福祉サービス

イ こども発達支援事業

ウ こども発達支援相談事業所運営事業

エ 基幹相談支援センター運営事業

オ 福祉分野の人材育成

(3) 権利擁護支援の推進

ア 権利擁護事業

3 教育

(1) 生涯学習機会の充実

ア 公共施設の相互利用

4 産業振興

(1) 地域資源を活用した観光と地場製品の振興

ア 観光協会等支援

イ 観光施設等の整備・運営

ウ イベント情報等の共有と相互参加・PR

エ グリーンツーリズム事業

(2) スポーツによるまちづくりの推進

ア 広域スポーツ振興事業

(3) 鳥獣被害防止対策の推進

ア 鳥獣被害防止対策事業

(4) 通年雇用の促進

ア 通年雇用の促進

イ 人材育成

5 その他

(1) 低炭素社会に向けた取組の推進

ア 森林保全事業

(2) 廃棄物処理施設の広域利用の推進

ア 一部事務組合等の広域処理の推進

イ 広域処理施設の整備

(3) 水道水質検査業務の連携

ア 水道水質検査業務

(4) 消費生活相談事業の連携

ア 広域消費生活相談事業の推進

II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

1 地域公共交通

(1) 地域公共交通の確保

ア 生活バス路線の維持・確保

イ 多様な交通手段の確保

ウ 複合交通センター管理運営

2 道路等の交通インフラの整備

(1) 交通ネットワークの形成

ア 各種期成会活動の推進

3 地域内外の住民との交流・移住促進

(1) 地域内外の住民との交流促進

ア 地域内外の住民との交流促進

イ 天塩川だよりの発行

4 圏域生活基盤維持対策

(1) 物流網効率化の推進

ア 圏域物流研究

(2) 防災

ア 天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修

イ 災害時の相互応援体制の整備

III 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

1 宣言中心市等における人材の育成

(1) 大学と連携した人材育成

ア 公開講座等による研修機会の提供

イ 講師派遣

(2) 職員研修

ア 職員合同研修会

I-1 医療

2 具体的な事業と内容

I 生活機能の強化に係る政策分野

1 医療

(1) 救急医療の維持・確保対策

協定の 内容	(取組の内容) 夜間及び休日等における救急患者に対応するため、救急医療体制の維持・確保を図るとともに、圏域住民へ救急医療知識の普及啓発を行う。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 名寄市立総合病院及び士別市立病院における第2次救急医療体制の維持・確保を図るとともに、(社)上川北部医師会に委託して、初期救急医療の体制確保と圏域住民への救急医療啓発を行う。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町) 甲が行う第2次救急医療体制の維持・確保及び(社)上川北部医師会への委託について、必要な協力と応分の経費を負担する。

協定の 内容	(取組の内容) 夜間及び休日等における救急患者に対応するため、救急医療体制の維持・確保を図る。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 名寄市立総合病院及び士別市立病院における第2次救急医療体制の維持・確保を図る。
	(乙の役割・幌加内町、西興部村、枝幸町、浜頓別町、中頓別町) 甲が行う第2次救急医療体制の維持・確保について、必要な協力と応分の経費を負担する。

ア 広域第2次救急医療事業

事業内容	広域医療圏の第2次救急医療を実施する公的医療機関を支援し、長期的かつ安定的な第2次救急医療を確保する。
効果	夜間及び休日等における救急患者に対する救急医療体制を確保することによって、圏域住民の生命に対する安全性と安心感の向上が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

成果指標：圏域救急搬送数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成27年度)	目標値 (令和7年度)
	搬送者数	794人	810人

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
第2次救急医療事業	名寄市	11,867	11,867	11,867	11,867	11,867	59,335
第2次救急医療事業	士別市	11,867	11,867	11,867	11,867	11,867	59,335
第2次救急医療事業	和寒町	1,092	1,092	1,092	1,027	1,027	5,330
第2次救急医療事業	剣淵町	3,892	3,892	3,892	3,528	3,528	18,732
第2次救急医療事業	下川町	2,873	2,873	2,873	2,642	2,642	13,903
第2次救急医療事業	美深町	2,379	2,379	2,379	2,750	2,750	12,637
第2次救急医療事業	音威子府村	596	596	596	816	816	3,420
第2次救急医療事業	中川町	1,034	1,034	1,034	1,103	1,103	5,308
第2次救急医療事業	幌加内町	537	537	537	563	563	2,737
第2次救急医療事業	西興部村	607	607	607	956	956	3,733
第2次救急医療事業	枝幸町	4,040	4,040	4,040	4,018	4,018	20,156
第2次救急医療事業	浜頓別町	1,881	1,881	1,881	1,792	1,792	9,227
第2次救急医療事業	中頓別町	1,149	1,149	1,149	1,118	1,118	5,683

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-1 医療

イ 救急医療啓発普及事業

事業内容	(一社) 上川北部医師会に事業を委託し、初期救急医療(1次医療)体制の維持・確保及び圏域住民への救急医療の啓発・普及を図る。
効果	初期救急医療の体制確保と圏域住民への救急医療啓発によって、圏域住民の生命に対する安全性と安心感の向上が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

成果指標：受診者数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値(平成27年度)	目標値(令和7年度)
	受診者数	609件	670件

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
救急医療啓発普及事業	名寄市	1,387	1,387	1,387	1,387	1,423	6,971
救急医療啓発普及事業	士別市	998	998	998	998	984	4,976
救急医療啓発普及事業	和寒町	305	305	305	305	300	1,520
救急医療啓発普及事業	剣淵町	290	290	290	290	288	1,448
救急医療啓発普及事業	下川町	302	302	302	302	297	1,505
救急医療啓発普及事業	美深町	350	350	350	350	345	1,745
救急医療啓発普及事業	音威子府村	187	187	187	187	184	932
救急医療啓発普及事業	中川町	227	227	227	227	223	1,131

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

(2) 圏域医療体制の充実

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民が安心して暮らせるよう、圏域医療体制の充実を図る。 また、医療人材の育成・確保を推進する。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 圏域医療における役割分担のもとに、甲の地域における医療体制の充実を図るとともに、乙への医師等の派遣、医療情報の共有及びネットワーク化を促進する。また、医療人材の育成・確保につながる研修・講演会などを開催するために、拠点施設となる名寄市立総合病院や名寄市立大学等の施設整備を行う。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、枝幸町、浜頓別町、中頓別町) 圏域医療における役割分担のもとに、乙の地域における医療体制の充実を図るとともに、甲と連携し医療情報の共有及びネットワーク化を促進する。また、名寄市立総合病院、名寄市立大学等と連携し、実習の受入及び研修会への参加等人材の育成・確保に協力する。

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民が安心して暮らせるよう、圏域医療体制の充実を図る。 また、医療人材の育成・確保を推進する。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 圏域医療における役割分担のもとに、甲の地域における医療体制の充実を図るとともに、乙への医師等の派遣、医療情報の共有を促進する。また、医療人材の育成・確保につながる研修・講演会などを開催するために、拠点施設となる名寄市立総合病院や名寄市立大学等の施設整備を行う。
	(乙の役割・西興部村) 圏域医療における役割分担のもとに、乙の地域における医療体制の充実を図るとともに、甲と連携し医療情報の共有を促進する。また、名寄市立総合病院、名寄市立大学等と連携し、実習の受入及び研修会への参加等人材の育成・確保に協力する。

I-1 医療

ア 道北北部連携ネットワーク整備事業

事業内容	広域における救急医療連携機能の充実を図るため、医療情報の共有及びネットワークシステムを整備する。
効果	病院間における診療情報を共有することによって、迅速で的確な対応と患者の負担軽減が図られる。
役割分担	医療情報の共有及びネットワーク化については、各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	道北圏地域医療再生事業費補助金、病診連携等による地域医療の確保に対する財政措置

成果指標：ポラリスネットワーク利用圏域病院数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値（平成27年度）		目標値（令和7年度）	
	病院数	公開型3件	参照型9件	公開型8件	参照型20件

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
道北北部連携ネットワークシステム整備事業	名寄市	2,499	3,885	3,080	3,198	3,023	15,685
道北北部連携ネットワークシステム整備事業	士別市	939	939	1,080	1,289	14,367	18,614
道北北部連携ネットワークシステム整備事業	枝幸町	911	911	1,050	1,059	330	4,261

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

イ 医師等派遣事業

事業内容	医療スタッフの不足を補うため、医療機関や地域保健健診へ医師等を派遣する。
効果	人的資源が不足する地域医療や地域保健健診の維持・確保が図られる。
役割分担	医師等の確保や派遣は名寄市立総合病院が行う。 派遣に必要な経費は各自治体が負担する。
補助制度等	地域医療サポートセンター整備事業、へき地医療拠点病院運営事業、過疎債、病診連携等による地域医療の確保に対する財政措置

成果指標：圏域市町村医師派遣日数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値(平成27年度)	目標値(令和7年度)
	派遣日数	のべ490日	のべ530日

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
地域医療サポートセンター整備事業	名寄市	27,535	34,855	37,060	45,121	45,100	189,671
医師等派遣事業	名寄市	34,324	39,324	41,944	44,822	44,800	205,214
巡回診療	名寄市	956	956	597	0	0	2,509
地域保健健診事業	名寄市	2,665	2,680	2,680	2,685	2,670	13,380
医師等派遣事業	士別市	18,060	21,880	22,190	17,990	19,320	99,440
医師等派遣事業	和寒町	280	210	0	0	0	490
地域保健健診事業	和寒町	0	150	150	135	150	585
地域保健健診事業	剣淵町	150	150	150	150	150	750
医師等派遣事業	下川町	350	0	0	0	140	490
地域保健健診事業	美深町	60	60	60	60	150	390
代替医師確保補助金	音威子府村	5,174	5,845	5,000	5,000	5,000	26,019
地域保健健診事業	中川町	120	120	120	120	120	600
地域医療サポートセンター整備事業	枝幸町	6,650	5,110	6,790	8,820	6,160	33,530
医師等派遣事業	浜頓別町	0	0	0	0	0	0
医師等派遣事業	中頓別町	0	0	0	2,240	2,240	4,480
医師等派遣事業	幌加内町	0	0	0	0	0	0

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-1 医療

ウ 機能訓練事業

事業内容	機能訓練や介護予防事業の指導に必要な理学療法士等の共同配置や派遣を行う。
効果	理学療法士等の共同配置や派遣によって、圏域内における機能訓練の維持・確保や介護予防が図られる。
役割分担	理学療法士等の確保や派遣は中心市が行う。 派遣に必要な経費は各自治体が負担する。
補助制度等	地域支援事業交付金

成果指標：名寄地区機能訓練事業市町村理学療法士派遣日数

重要業績評価指標 (K P I)	指標	基準値 (平成 27 年度)	目標値 (令和 7 年度)
	派遣日数	200 日	200 日

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
名寄地区機能訓練事業	名寄市	5,162	4,753	4,846	5,232	4,774	24,767
名寄地区機能訓練事業	下川町	1,331	1,225	1,249	1,349	1,231	6,385
名寄地区機能訓練事業	美深町	1,500	1,380	1,407	1,519	1,386	7,192
名寄地区機能訓練事業	音威子府村	924	850	867	936	854	4,431
名寄地区機能訓練事業	中川町	1,046	977	996	1,076	982	5,077
機能回復訓練事業	幌加内町	0	0	0	0	0	0
機能回復訓練事業	西興部村	216	225	225	225	226	1,117

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

エ 保健・医療分野の人材育成

事業内容	圏域内の保健・医療分野のリカレント教育を行う。
効果	圏域内の保健・医療分野の人材確保が図られる。
役割分担	名寄市立病院や名寄市立大学で研修会、講習会等を行い、各自治体が住民に周知する。
補助制度等	

成果指標：リカレント教育・講座受講者数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値(平成27年度)	目標値(令和7年度)
	受講者数	0人	50人

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
リカレント教育関連事業費	名寄市	222	273	273	111	400	1,279
リカレント教育住民周知事業	士別市	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	和寒町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	剣淵町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	下川町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	美深町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	音威子府村	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	中川町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	幌加内町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	西興部村	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	枝幸町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	浜頓別町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	中頓別町	0	0	0	0	0	0

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-2 福祉

2 福祉

(1) 審査会業務の連携

協定の内容	(取組の内容) 人材確保による業務の安定化と効率化を図るため、介護認定審査会及び障害支援区分認定審査会の共同設置・共同運営を推進する。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 乙と共同で設置する介護認定審査会及び障害支援区分認定審査会の事務局として、当該審査会の運営を行う。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町) 甲と共同で設置・運営する介護認定審査会及び障害支援区分認定審査会に関して、必要な協力と応分の経費を負担する。

ア 介護認定審査会共同設置事業

事業内容	介護保険法に基づく要介護認定審査事務を共同で行う。
効果	人材確保による業務の安定化と効率化によって、審査会委員の確保、圏域内における公平な判定、認定事務の効率化が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

成果指標：年間審査件数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値（平成27年度）	目標値（令和7年度）
	審査件数	4,778件	4,040件

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
名寄地区介護認定審査会共同設置事業	名寄市	3,602	3,680	3,654	2,508	3,355	16,799
名寄地区介護認定審査会共同設置事業	下川町	1,652	1,742	1,788	1,404	1,640	8,226
名寄地区介護認定審査会共同設置事業	美深町	1,718	1,829	1,709	1,657	1,735	8,648
名寄地区介護認定審査会共同設置事業	音威子府村	1,486	1,522	1,507	1,507	1,339	7,361
名寄地区介護認定審査会共同設置事業	中川町	1,544	1,612	1,419	1,258	1,474	7,307
士別地域介護認定審査会共同設置事業	士別市	4,200	3,859	4,188	3,338	3,411	18,996
士別地域介護認定審査会共同設置事業	和寒町	1,754	1,595	1,733	1,356	1,392	7,830
士別地域介護認定審査会共同設置事業	剣淵町	1,629	1,497	1,625	1,286	1,457	7,494
士別地域介護認定審査会共同設置事業	幌加内町	1,596	1,482	1,716	1,451	1,444	7,689
介護認定審査会システム共同構築事業	幌加内町	→	→	→	→	→	→

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

イ 障害支援区分認定審査会共同設置事業

事業内容	障害者総合支援法に基づく障害支援区分認定審査事務を共同で行う。
効果	人材確保による業務の安定化と効率化によって、審査会委員の確保、圏域内における公平な判定、認定事務の効率化が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

成果指標：障害支援区分認定判定審査件数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成 27 年度)	目標値 (令和 7 年度)
	審査件数	191 件	159 件

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
名寄地区障害支援区分認定審査会共同設置事業	名寄市	1,186	1,153	1,154	1,187	1,230	5,910
名寄地区障害支援区分認定審査会共同設置事業	下川町	394	410	399	396	400	1,999
名寄地区障害支援区分認定審査会共同設置事業	美深町	531	515	515	527	499	2,587
名寄地区障害支援区分認定審査会共同設置事業	音威子府村	309	301	298	298	303	1,509
名寄地区障害支援区分認定審査会共同設置事業	中川町	330	334	345	336	342	1,687
士別地域障害支援区分認定審査会共同設置事業	士別市	264	176	187	384	251	1,262
士別地域障害支援区分認定審査会共同設置事業	和寒町	103	69	72	110	77	431
士別地域障害支援区分認定審査会共同設置事業	剣淵町	102	69	68	104	74	417
士別地域障害支援区分認定審査会共同設置事業	幌加内町	72	57	62	86	60	337

※各事業については、令和 4 年 3 月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-2 福祉

(2) 福祉体制の充実

協定の内容	<p>(取組の内容)</p> <p>圏域住民が安心して暮らせるよう、圏域福祉体制の充実を図る。</p> <p>また、障がい者（児）の自立と社会参加を促進するため、療育施設及び地域活動支援センター等の広域利用を推進する。</p> <p>さらに、福祉人材の育成・確保を推進する。</p>
	<p>(甲の役割・名寄市、士別市)</p> <p>乙と連携して名寄市こども発達支援センター及び士別市こども通園センターを運営するとともに、地域活動支援センター及び基幹相談支援センター等の広域利用を推進する。また、福祉人材の育成・確保につながる研修・講演会などを開催するために、拠点施設となる福祉施設、名寄市立大学等の施設整備を行う。</p>
	<p>(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町)</p> <p>甲が設置する名寄市こども発達支援センター及び士別市こども通園センターの運営に必要な協力と応分の経費を負担するとともに、甲と連携して地域活動支援センター及び基幹相談支援センター等の広域利用を推進する。また、福祉施設、名寄市立大学等と連携し、実習の受入及び研修会への参加等人材の育成・確保に協力する。</p>
協定の内容	<p>(取組の内容)</p> <p>圏域住民が安心して暮らせるよう、圏域福祉体制の充実を図る。</p> <p>また、福祉人材の育成・確保を推進する。</p>
	<p>(甲の役割・名寄市、士別市)</p> <p>福祉人材の育成・確保につながる研修・講演会などを開催するために、拠点施設となる福祉施設、名寄市立大学等の施設整備を行う。</p>
	<p>(乙の役割・西興部村、枝幸町、浜頓別町、中頓別町)</p> <p>福祉施設、名寄市立大学等と連携し、実習の受入及び研修会への参加等人材の育成・確保に協力する。</p>

ア 障害福祉サービス

事業内容	障がい者の自立と社会参加を促進する地域活動支援センターの広域利用を推進する。
効果	地域活動支援センターの安定した事業運営の確保が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	地域生活支援事業費補助金

成果指標：道北地域活動支援センター1日平均通所人数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成27年度)	目標値 (令和7年度)
	1日平均通所人数	27.1人	30人

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
名寄市地域活動支援センター事業	名寄市	10,003	9,813	9,760	10,049	10,182	49,807
名寄市地域活動支援センター事業	下川町	672	677	716	700	709	3,474
名寄市地域活動支援センター事業	美深町	1,500	1,242	1,266	1,215	881	6,104
名寄市地域活動支援センター事業	音威子府村	128	122	148	148	142	688
名寄市地域活動支援センター事業	中川町	305	251	244	294	293	1,387
士別地域活動支援センター事業	士別市	5,234	5,212	5,193	5,117	5,212	25,968
士別地域活動支援センター事業	和寒町	766	789	821	884	884	4,144
士別地域活動支援センター事業	剣淵町	0	0	0	0	0	0
士別地域活動支援センター事業	幌加内町	→	→	→	→	→	→

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-2 福祉

イ こども発達支援事業

事業内容	子どもの発達にあわせた個別事業や集団指導等を行う療育施設の広域利用を推進する。
効果	児童発達支援施設等の広域利用によって、安定した事業運営の確保が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

成果指標：児童発達支援施設等の通所児数（利用実績数）

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値（平成27年度）	目標値（令和7年度）
	通所児数（利用実績数）	159人（2,533人）	163人（2,610人）

【事業費】

（単位：千円）

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
名寄市こども発達支援事業	名寄市	32,702	32,282	27,331	28,980	35,203	156,498
名寄市こども発達支援事業	下川町	489	497	497	497	1,105	3,085
名寄市こども発達支援事業	美深町	940	1,599	1,599	1,599	593	6,330
名寄市こども発達支援事業	音威子府村	134	339	339	339	639	1,790
名寄市こども発達支援事業	中川町	158	384	384	384	363	1,673
士別市こども通園センター運営事業	士別市	46,443	42,417	42,117	42,772	42,811	216,560
士別市こども通園センター運営事業	和寒町	1,774	1,052	877	610	1,219	5,532
士別市こども通園センター運営事業	剣淵町	1,395	1,821	871	604	1,600	6,291
士別市こども通園センター運営事業	幌加内町	685	931	1,004	477	2,099	5,196

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

ウ 子ども発達支援相談事業所運営事業

事業内容	平成27年度から発達支援サービス利用に必要な計画を作成する。
効果	広域利用によって、安定した事業運営の確保が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

成果指標：児童相談支援計画数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値(平成27年度)	目標値(令和7年度)
	計画数	125件	65件

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
名寄市子ども発達支援相談事業所運営事業	名寄市	12,577	11,762	12,299	12,304	12,252	61,194
名寄市子ども発達支援相談事業所運営事業	下川町	559	496	528	528	588	2,699
名寄市子ども発達支援相談事業所運営事業	美深町	907	1,014	1,014	1,014	495	4,444
名寄市子ども発達支援相談事業所運営事業	音威子府村	270	280	255	255	267	1,327
名寄市子ども発達支援相談事業所運営事業	中川町	457	262	407	407	296	1,829

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-2 福祉

エ 基幹相談支援センター運営事業

事業内容	障がい者が住みなれた地域で安心して暮らしていくため、様々な支援を行う基幹相談支援センターの広域利用を推進する。
効果	基幹相談支援センターの安定した事業運営の確保が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	地域活動支援事業補助金

成果指標：土別地域基幹相談支援センター設置個所数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成30年度)	目標値 (令和7年度)
	基幹相談支援センター数	1か所	1か所

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
基幹相談支援センター運営事業	名寄市	—	—	—	1,407	1,407	2,814
基幹相談支援センター運営事業	下川町	—	—	—	432	432	864
基幹相談支援センター運営事業	美深町	—	—	—	472	472	944
基幹相談支援センター運営事業	音威子府村	—	—	—	361	361	722
基幹相談支援センター運営事業	中川町	—	—	—	361	361	722
土別地域基幹相談支援センター運営事業	土別市	—	3,984	3,913	3,924	3,984	15,805
土別地域基幹相談支援センター運営事業	和寒町	—	1,299	1,299	1,307	0	3,905
土別地域基幹相談支援センター運営事業	剣淵町	—	1,377	1,341	1,265	1,400	5,383

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

オ 福祉分野の人材育成

事業内容	圏域内の福祉分野のリカレント教育を行う。
効果	圏域内の福祉分野の人材確保が図られる。
役割分担	福祉施設や名寄市立大学で研修会、講習会等を行い、各自治体が住民に周知する。
補助制度等	

成果指標：リカレント教育・講座受講者数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値(平成27年度)	目標値(令和7年度)
	受講者数	0人	50人

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
リカレント教育関連事業費	名寄市	396	259	440	50	340	1,485
リカレント教育住民周知事業	士別市	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	和寒町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	剣淵町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	下川町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	美深町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	音威子府村	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	中川町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	幌加内町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	西興部村	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	枝幸町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	浜頓別町	0	0	0	0	0	0
リカレント教育住民周知事業	中頓別町	0	0	0	0	0	0

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-2 福祉

(3) 権利擁護支援の推進

協定の内容	(取組の内容) 圏域における認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない方に対して、地域で安心して尊厳ある生活ができるよう成年後見制度（後見・保佐・補助をいう。）の総合的な利用促進を図る。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 権利擁護機能の充実を図るため、乙と連携して圏域の権利擁護支援体制を整備するとともに、地域に不足する弁護士等の専門職後見人に代わる、後見業務を担える体制の整備を推進する。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、幌加内町) 甲が実施する、権利擁護機関の運営に必要な協力と応分の経費を負担すると共に、連携して広域利用を推進する。また、各市町の社会福祉協議会等と連携し、日常生活自立支援事業から成年後見制度利用支援まで、切れ目のない権利擁護支援を行う。

ア 権利擁護事業

事業内容	士別市社会福祉協議会が運営する成年後見センターにおいて、権利擁護の相談などの機能充実と市民後見人の育成を図るための必要な支援を行う。
効果	社会福祉士等の人材確保による業務の安定化と効率化によって、安定した事業運営の確保が図られる。
役割分担	成年後見センターの運営に必要な経費を各自治体が負担する。
補助制度等	地域生活支援事業補助金、権利擁護人材育成補助金

成果指標：士別地域成年後見センター設置個所数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値（平成30年度）	目標値（令和7年度）
		成年後見センターの設置	—

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
士別地域成年後見センター事業	士別市	—	—	7,911	8,618	8,619	25,148
士別地域成年後見センター事業	和寒町	—	—	1,824	1,988	2,039	5,851
士別地域成年後見センター事業	剣淵町	—	—	1,632	1,844	1,923	5,399
士別地域成年後見センター事業	幌加内町	—	—	1,117	1,139	1,183	3,439

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

3 教育

(1) 生涯学習機会の充実

協 定 の 内 容	<p>(取組の内容)</p> <p>圏域住民の生涯学習機会の充実を図るため、公共施設の有効活用及び各公共施設等で実施する講演、イベントや大会等の充実並びに圏域住民への情報提供を促進する。</p>
	<p>(甲の役割・名寄市、士別市)</p> <p>乙と連携して公共施設の相互利用を促進するとともに、生涯学習機会の充実と圏域内の情報を相互に交換し、甲の住民への周知を図る。</p>
	<p>(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、西興部村、枝幸町、中頓別町)</p> <p>甲と連携して公共施設の相互利用を促進するとともに、生涯学習機会の充実と圏域内の情報を相互に交換し、乙の住民への周知を図る。</p>

I-3 教育

ア 公共施設の相互利用

事業内容	公共施設の効率的な利用を促進するため、公共施設の適正な維持管理・運営事業を行う。必要に応じて外部から専門家を招へいする。
効果	公共施設の適正な維持管理や運営事業など、公共施設の相互利用の推進によって、公共施設の有効活用と生涯学習機会の充実が図られる。
役割分担	施設の維持管理・運営事業については、各自治体が行う。
補助制度等	観光振興推進事業債

成果指標：移動天文台圏域内派遣回数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成27年度)	目標値 (令和7年度)
	派遣回数	1回	10回

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
名寄市ピヤシリシャンツェ管理運営事業	名寄市	16,449	15,914	15,264	14,942	17,329	79,898
なよろ市立天文台運営事業	名寄市	8,897	8,942	9,611	9,357	9,961	46,768
サンライズホール自主企画事業	士別市	7,565	7,166	7,015	6,988	7,100	35,834
芸術文化鑑賞事業	和寒町	3,720	2,681	574	280	2,500	9,755
生涯学習機会の充実	剣淵町	100	100	100	100	100	500
文化講演会等事業	下川町	2,880	2,230	2,230	107	230	7,677
生涯学習講演会	美深町	100	60	0	0	100	260
COM100文化ホール自主企画事業	美深町	9,000	12,890	7,874	1,281	9,000	40,045
音威富士スキー場運営事業	音威子府村	42,951	29,342	29,892	23,505	19,971	145,661
青少年宿泊研修施設運営助成事業	音威子府村	3,914	3,914	3,914	3,914	3,914	19,570
エコミュージアムセンター運営事業	中川町	7,130	9,914	10,000	4,950	4,667	36,661
教育講演会	中川町	150	150	150	0	150	600
総合型地域スポーツクラブ運営事業	中川町	1,484	1,030	1,000	998	1,228	5,740
短歌フェスティバル運営事業	中川町	1,439	1,751	1,400	1,452	1,837	7,879
公共施設相互利用	西興部村	23,088	23,027	35,594	21,508	22,857	126,074
フットパス事業	西興部村	0	0	0	0	0	0
三笠山スキー場運営事業	枝幸町	17,319	18,569	19,309	18,546	24,422	98,165
オホーツクミュージアムえさし運営事業	枝幸町	12,412	12,428	13,040	16,206	11,850	65,936
芸術文化推進事業	中頓別町	860	750	1,691	411	1,125	4,837

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

4 産業振興

(1) 地域資源を活用した観光と地場産品の振興

協定の内容	(取組の内容) 圏域における観光と地場産品の振興を図るため、各市町村が有する観光、食、物産品等の地域資源の魅力や付加価値を維持・向上させるとともに、関係団体と連携して広域連携を強化する。また、イベント・物産情報等を共有し、相互に参加・PRすることで地産地消及び物産振興を図る。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 観光施設等の維持・整備、観光メニューや地場産品等の研究・開発を促進するとともに、乙や道北観光連盟等の関係団体と連携し、広域観光や地場産品のブランド化を促進する。また、圏域内のイベント・物産情報等を集約し、圏域内外に向けて発信する。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町) 観光施設等の維持・整備、観光メニューや地場産品等の研究・開発を促進するとともに、甲や道北観光連盟等の関係団体と連携し、広域観光や地場産品のブランド化を促進する。また、乙のイベント・物産情報等を甲に提供する。

成果指標：圏域内観光入込客数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値(平成27年度)	目標値(令和7年度)
		登録者数	2,320.4千人

I-4 産業振興

ア 観光協会等支援

事業内容	観光関連団体と連携を図り、観光の振興や地場製品のブランド化などを促進する。
効果	イベントや物産情報など、地域資源による魅力の共有とPR等によって、圏域全体の魅力向上と観光の振興が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	過疎地域特別対策事業債

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
なよろ観光まちづくり協会負担金・補助金	名寄市	32,655	33,105	33,788	34,328	36,283	170,159
風連まちづくり観光負担金・補助金	名寄市	6,180	6,180	6,180	6,180	6,180	30,900
道北観光連盟負担金	名寄市	316	316	316	316	316	1,580
道北観光連盟負担金	士別市	240	240	240	240	240	1,200
士別観光協会補助金	士別市	9,820	9,707	9,770	1,699	1,529	32,525
道北観光連盟負担金	和寒町	104	104	104	104	104	520
観光協会補助金	和寒町	5,890	5,890	5,905	1,965	4,509	24,159
道北観光連盟負担金	剣淵町	101	101	101	101	101	505
観光協会補助金	剣淵町	8,970	10,470	8,955	2,900	9,980	41,275
道北観光連盟負担金	下川町	104	104	110	04	104	526
観光協会補助金等	下川町	13,260	13,600	12,560	11,880	12,000	63,300
観光協会補助金	美深町	29,092	30,471	31,698	30,287	26,286	147,834
道北観光連盟負担金	美深町	113	113	113	113	113	565
道北観光連盟負担事業	音威子府村	81	81	81	81	81	405
音威子府観光協会補助事業	音威子府村	1,050	1,050	1,050	1,050	1,160	5,360
道北観光連盟負担金	中川町	89	89	90	89	90	447
観光協会補助金	中川町	14,129	13,965	14,129	12,471	12,243	66,937
観光関連団体補助事業	幌加内町	779	1,526	3,184	1,820	1,764	9,073
観光協会補助事業	幌加内町	30,657	31,595	33,312	24,979	31,138	151,681

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

イ 観光施設等の整備・運営

事業内容	圏域全体の物産振興及び観光振興を図るため、観光施設等の適正な維持管理・運営事業を行う。
効果	観光施設等の適正な維持管理と運営事業を展開することによって、圏域内外からの観光施設等の利用を促進し、圏域全体の魅力向上と観光の振興が図られる。
役割分担	施設の維持管理・運営事業については、各自治体が行う。
補助制度等	

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
道の駅運営事業	名寄市	13,469	24,287	15,843	15,868	15,787	85,254
道の駅運営事業	剣淵町	12,248	17,817	13,259	13,194	12,773	69,291
道の駅運営事業	美深町	6,402	7,322	8,783	10,343	11,492	44,342
道の駅運営事業	音威子府村	759	767	832	832	899	4,089
道の駅運営事業	中川町	12,081	10,892	11,935	10,409	10,711	56,028
観光施設管理事業	幌加内町	87,489	88,794	67,153	54,740	66,901	365,077

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-4 産業振興

ウ イベント情報等の共有と相互参加・PR

事業内容	イベントや物産情報などの観光情報を圏域内外に発信するとともに、相互参加やPR活動など広域連携によるイベント開催を促進する。
効果	相互のイベント開催と観光情報の発信によって、観光資源の相乗効果が期待され、圏域全体の観光振興が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	地域づくり総合交付金

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29年	H 30年	R 元年	R 2年	R 3年	総事業費
観光振興事業	名寄市	50,221	49,874	48,716	50,063	52,058	250,932
テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会	名寄市	100	100	100	100	100	500
観光イベント推進事業	士別市	10,330	10,779	10,579	7,779	6,750	46,217
テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会	士別市	76	76	76	36	73	337
イベント開催補助事業	剣淵町	400	400	400	0	0	1,200
テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会	剣淵町	31	31	31	20	37	150
イベント開催推進補助	和寒町	5,090	4,440	4,570	800	450	15,350
テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会	和寒町	27	27	27	14	27	122
テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会	下川町	36	36	36	17	39	164
テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会	美深町	50	50	50	50	50	250
テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会	音威子府村	24	24	24	11	23	106
観光PR旅費	中川町	288	36	125	37	57	543
天塩川・春・発信 in なかがわ運営費補助	中川町	800	800	800	785	800	3,985
天塩川イベント運営補助	中川町	1,000	1,000	1,000	139	530	3,669
テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会	中川町	28	28	28	16	28	128
イベント協賛事業	幌加内町	100	100	300	100	300	900
イベント開催事業	幌加内町	3,900	3,600	3,600	0	1,150	12,250
テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会	幌加内町	23	23	23	13	24	106
テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会	中頓別町	0	→	→	→	→	→

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

エ グリーンツーリズム事業

事業内容	地域資源の魅力や付加価値を維持・向上させるとともに、グリーンツーリズムの推進や地産地消及び物産振興を図る。
効果	都市と農村の交流や地産地消によって、消費者の農業・農村に対する理解が促進される。また、6次産業化や農商工連携によって、地場製品のブランド化が期待される。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29年	H 30年	R 元年	R 2年	R 3年	総事業費
グリーンツーリズム推進事業補助金	名寄市	100	100	100	0	100	400
地産地消付加価値向上事業	名寄市	175	0	0	0	100	275
農業農村交流受入事業	士別市	0	0	0	0	0	0
6次産業化推進事業	士別市	1,252	922	105	21	0	2,300
農畜産物等販路拡大推進事業	美深町	3,500	3,500	3,000	1,000	3,000	14,000
農商工連携事業	中川町	411	500	500	810	1,000	3,221

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-4 産業振興

(2) スポーツによるまちづくりの推進

協 定 の 内 容	<p>(取組の内容) 圏域の自然環境及び施設環境を活かし、広域でのスポーツによるまちづくりを推進するため、スポーツ合宿・大会誘致等による圏域の交流人口及び関係人口の拡大並びにジュニア世代の育成強化やコーチの養成等の人材育成を推進する。</p>
	<p>(甲の役割・名寄市、士別市) スポーツイベント情報の集約・発信、スポーツ施設の広域的活用及びスポーツ合宿・大会の誘致等により圏域の振興を図る。また、スポーツコミッション等の運営、名寄市立大学の活用によりコーチ・ジュニア選手等の人材育成やデータ分析により得られた情報の提供を行う。</p>
	<p>(乙の役割・下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町) 圏域スポーツイベント情報の住民への周知を図る等、圏域のスポーツによる地域振興に資する取組を推進する。また、甲が分析した情報を活用した人材育成や甲と連携して人材・施設の相互活用を促進する。</p>

ア 広域スポーツ振興事業

事業内容	広域でスポーツによるまちづくりを推進するため、スポーツ合宿・大会等の情報を共有・発信し、圏域全体の交流人口及び関係人口の拡大を図る。また、ジュニア世代の育成強化やコーチの養成等の人材育成を共同で推進する。
効果	情報の共有・発信によりスポーツ合宿・大会等で訪れる人数が増加する。また、宿泊者の安定的な受入れによる地域振興が図られる。人材の育成及び相互活用により、スポーツによるまちづくりの取組が持続可能なものとなる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

成果指標：圏域内スポーツ大会情報の発信回数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値(平成29年度)	目標値(令和7年度)
	発信回数	13回	18回

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
上川北部広域スポーツクラブ負担金	名寄市	50	0	0	0	0	50
上川北部広域スポーツクラブ負担金	下川町	50	0	0	0	0	50
上川北部広域スポーツクラブ負担金	美深町	50	0	0	0	0	50
上川北部広域スポーツクラブ負担金	音威子府村	50	50	20	50	50	220
上川北部広域スポーツクラブ負担金	中川町	50	0	0	0	0	50
スポーツ合宿・大会情報共有事業	名寄市	0	0	0	0	0	0
スポーツ合宿・大会情報共有事業	下川町	0	0	0	0	0	0
スポーツ合宿・大会情報共有事業	美深町	0	0	0	0	0	0
スポーツ合宿・大会情報共有事業	音威子府村	0	0	0	0	0	0
スポーツ合宿・大会情報共有事業	中川町	0	0	0	0	0	0
スポーツ合宿・大会情報共有事業	幌加内町	0	0	0	0	0	0

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-4 産業振興

(3) 鳥獣被害防止対策の推進

協定の内容	(取組の内容) 鳥獣による農林業への被害防止を図るため、関係機関・団体と連携して被害状況や被害防止対策等の情報交換を行い、効果的な対策を推進する。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 鳥獣による被害状況や被害防止対策等に係る情報交換を行い、乙及び関係機関・団体と連携して被害防止対策を講じるとともに、担い手育成に向けた講習会や残滓処理についての情報を乙に提供する。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町) 鳥獣による被害状況や被害防止対策等に係る情報交換を行い、甲及び関係機関・団体と連携して被害防止対策を講じるとともに、甲が提供する情報の有効活用を図る。

ア 鳥獣被害防止対策事業

事業内容	鳥獣による農林業への被害防止を図るため、鳥獣被害防止対策を推進する。
効果	鳥獣による被害状況や被害防止対策等に係る情報共有など、連携を図ることによって未然防止が期待される。さらに、第1次産業である農林業に対する被害防止が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	鳥獣被害防止総合対策事業、地域づくり総合交付金

成果指標：有害鳥獣捕獲頭数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成27年度)	目標値 (令和7年度)
	捕獲数	2,560 頭	3,498 頭

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
有害鳥獣被害防止対策事業	名寄市	12,085	14,035	17,018	18,368	25,990	87,496
有害鳥獣被害防止対策事業	士別市	8,245	7,626	9,087	9,254	10,299	44,511
有害鳥獣被害対策事業	和寒町	5,540	4,760	4,920	6,480	6,000	27,700
有害鳥獣対策事業	剣淵町	2,372	1,575	2,358	2,453	2,742	11,500
有害鳥獣捕獲等事業	下川町	5,364	6,620	5,328	5,666	5,827	28,805
有害鳥獣対策事業	美深町	9,382	7,236	7,678	9,598	9,573	43,467
有害鳥獣対策事業	音威子府村	2,439	2,677	2,755	3,016	3,029	13,916
有害鳥獣駆除委託	中川町	500	500	500	550	550	2,600
有害鳥獣対策事業	中川町	4,319	3,553	4,600	4,462	4,860	21,794
鳥獣害防止対策事業	幌加内町	2,339	2,522	1,840	3,186	2,664	12,551

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

(4) 通年雇用の促進

協定の内容	(取組の内容) 季節労働者などへの各種支援により、通年雇用化を促進するとともに、地域人材開発センターの活用による圏域住民の人材育成・能力開発を図る。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 乙及び関係機関・団体と連携し、季節労働者などの通年雇用の促進のため、各種取組を行うとともに、圏域住民の職業教育訓練など地域人材開発センターの活用を推進する。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町) 甲及び関係機関・団体と連携し、季節労働者などの通年雇用の促進のため、各種取組を行うとともに、乙の住民の職業教育訓練など地域人材開発センターの活用を推進する。

成果指標： 通年雇用の促進

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)
	通年雇用に至った人数	31人	19人

ア 通年雇用の促進

事業内容	季節雇用者の通年雇用化に向けたセミナーの開催、資格取得支援及び取組企業への支援を行う。
効果	圏域内の季節雇用者に対する通年雇用の促進が期待される。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29年	H 30年	R 元年	R 2年	R 3年	総事業費
名寄地区通年雇用促進協議会負担金	名寄市	578	579	564	612	604	2,937
士別地域通年雇用促進協議会負担金	士別市	825	778	791	1,019	1,000	4,413
士別地域通年雇用促進協議会負担金	和寒町	219	196	176	236	234	1,061
士別地域通年雇用促進協議会負担金	剣淵町	190	164	176	214	230	974
名寄地区通年雇用促進協議会負担金	下川町	60	63	52	61	68	304
名寄地区通年雇用促進協議会負担金	美深町	126	112	132	101	112	583
名寄地区通年雇用促進協議会負担金	音威子府村	12	9	13	13	9	56
名寄地区通年雇用促進協議会負担金	中川町	52	51	51	35	63	252
士別地域通年雇用促進協議会負担金	幌加内町	91	87	82	98	103	461

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-4 産業振興

イ 人材育成

事業内容	圏域の中小企業労働者、求職者及び地域住民に対し、各種職業教育訓練を行うとともに、教育訓練を行う事業主・事業団体・地域住民等に施設や各種情報の提供を行う。
効果	さまざまな職業教育のための訓練、住民講座などの事業を実施し、地域の人材育成・能力開発を通じて、地域経済を支える「人づくり」と社会の発展が期待される。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
上川北部人材開発センター負担金	名寄市	9,100	9,100	9,100	9,100	9100	45,500
上川北部人材開発センター負担金	士別市	264	264	264	264	264	1,320
上川北部人材開発センター負担金	和寒町	106	106	106	106	106	530
上川北部人材開発センター負担金	剣淵町	103	103	103	103	103	515
上川北部人材開発センター負担金	下川町	119	119	119	119	119	595
上川北部人材開発センター負担金	美深町	123	123	123	123	123	615
上川北部人材開発センター負担金	音威子府村	68	68	68	68	68	340
上川北部人材開発センター負担金	中川町	56	56	56	56	56	280
上川北部人材開発センター負担金	幌加内町	61	61	61	61	61	305

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

5 その他

(1) 低炭素社会に向けた取組の推進

協定の 内容	(取組の内容) 低炭素社会の形成に向け、圏域の豊かな森林資源の保全及び新エネルギーの活用をはじめ、地域に適合した多様な取組を推進する。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 乙及び関係機関・団体と連携して、圏域の森林資源を適正に保全するとともに、新エネルギー等に係る圏域内の情報交換と調査・研究を促進し、普及に努める。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、枝幸町、浜頓別町、中頓別町) 甲及び関係機関・団体と連携して、圏域の森林資源を適正に保全するとともに、新エネルギー等に係る情報交換と調査・研究を促進し、普及に努める。

I-5 その他

ア 森林保全事業

事業内容	圏域の森林保全と森林整備を推進する。
効果	圏域の森林資源の保全や森林整備によって、低炭素社会の形成が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	森林環境保全整備事業、豊かな森づくり推進事業、森林整備地域活動支援交付金、森林環境保全直接支援事業

成果指標：圏域内森林保全事業実施面積

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成27年度)	目標値 (令和7年度)
	事業実施面積	1,972.6ha	2,668.8ha

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
市有林造林事業	名寄市	34,323	42,298	44,494	38,648	40,028	199,791
森林整備等振興事業	名寄市	1,878	1,752	2,371	13,119	14,920	34,040
森林整備地域活動交付金事業	名寄市	1,931	0	0	0	0	1,931
豊かな森づくり推進事業	名寄市	10,052	11,039	11,111	12,376	12,500	57,078
森林環境保全整備事業	士別市	15,750	11,425	8,102	7,512	13,650	56,439
森林整備加速化・林業再生事業(間伐)	士別市	0	0	0	0	0	0
豊かな森づくり推進事業	士別市	6,518	7,769	9,460	8,044	8,600	40,391
町有林整備事業	和寒町	45,749	21,567	34,421	24,694	27,864	154,295
豊かな森づくり推進事業	和寒町	9,126	12,163	12,708	8,190	8,800	50,987
植樹推進事業	和寒町	1,277	3,197	871	1,759	2,257	9,361
森林保全事業	剣淵町	8,964	4,255	14,366	16,866	58,941	103,392
豊かな森づくり推進事業	剣淵町	4,002	2,351	3,038	3,294	3,674	16,359
森林整備地域活動支援交付金事業	美深町	1,500	0	0	0	0	1,500
町有林造林保育事業	美深町	15,030	20,822	24,089	20,895	13,030	93,866
豊かな森づくり推進事業	美深町	8,965	5,848	6,367	4,537	6,520	32,237
村有林整備保全事業	音威子府村	27,367	19,884	14,733	14,733	20,324	97,041
豊かな森づくり推進事業	音威子府村	557	383	628	628	0	2,196
豊かな森づくり推進事業負担金	中川町	9,699	7,818	9,100	3,769	3,016	33,402
町有林造成事業	幌加内町	2,308	5,906	18,306	5,202	15,830	47,552
民有林整備保全事業	中頓別町	4,029	6,387	5,478	6,841	9,119	31,854
町有林整備保全事業	中頓別町	16,767	5,800	7,842	18,866	20,619	69,894

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

(2) 廃棄物処理施設の広域利用の推進

協定の内容	(取組の内容) 廃棄物の安定的かつ効率的な処理を維持・確保するため、処理施設の広域利用を促進する。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 乙と連携して一部事務組合等における広域処理を維持するとともに、甲が保有する処理施設について、更新時期にあわせ、広域化の検討を推進する。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、幌加内町) 甲と連携して一部事務組合等における広域処理を維持するとともに、甲が取り組む処理施設の広域化の検討に参画し、必要な協力を行う。

成果指標： 広域による廃棄物等の処理

重要業績評価指標 (K P I)	指標		基準値 (平成 27 年度)	目標値 (令和 7 年度)
	処理量	し尿	3,378.1kl	1,072.9 kl
	炭化	3,632.2t	3,495 t	
	埋立	103t	6,169 t	
	汚泥	5,942.9kl	2,735.8 kl	

I-5 その他

ア 一部事務組合等の広域処理の推進

事業内容	広域処理の推進により、廃棄物の安定的かつ効率的な処理を維持・確保する。
効果	廃棄物処理施設の広域利用の促進によって、廃棄物の安定的かつ効率的な処理が図られる。
役割分担	各自自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
資源ごみ広域処理	士別市	22,832	20,895	21,654	20,482	20,888	106,751
資源ごみ広域処理	和寒町	5,064	4,636	4,804	4,544	4,634	23,682
資源ごみ広域処理	剣淵町	8,196	7,516	7,786	7,350	7,496	38,344
し尿広域処理	士別市	18,631	19,288	62,408	48,732	47,529	196,588
し尿広域処理	和寒町	6,063	7,551	23,985	20,148	22,070	79,817
し尿広域処理	剣淵町	6,924	6,369	23,286	21,680	22,941	81,200
し尿広域処理	幌加内町	-	-	-	9,198	4,659	13,857
し尿等処理	名寄市	59,236	55,968	75,962	63,945	58,343	313,454
し尿等処理	下川町	13,076	11,635	15,504	12,059	11,952	64,226
し尿等処理	美深町	15,499	14,601	20,422	17,176	15,786	83,484
し尿等処理	音威子府村	3,242	2,843	3,771	3,024	2,620	15,500
炭化処理	名寄市	294,909	163,709	174,204	173,007	162,667	968,496
炭化処理	下川町	16,538	8,673	20,897	20,258	18,126	84,492
炭化処理	美深町	32,514	20,897	23,001	24,027	22,417	122,856
炭化処理	音威子府村	3,782	688	800	4,042	4,443	13,755
埋立処理	名寄市	0	43,508	17,333	36,366	49,824	147,031
埋立処理	下川町	0	15,239	7,611	9,447	10,172	42,469
埋立処理	美深町	0	14,307	8,785	9,915	10,692	43,699
埋立処理	音威子府村	0	9,820	6,376	7,795	7,982	31,973
プラ・PET 中間処理	名寄市	8,929	10,096	13,138	15,468	20,888	68,519
プラ・PET 中間処理	下川町	1,533	1,785	2,128	2,042	3,404	10,892
プラ・PET 中間処理	美深町	1,935	2,024	2,395	2,792	4,213	13,359
プラ・PET 中間処理	音威子府村	299	330	415	464	696	2,204
し尿処理業務委託事業	幌加内町	1,595	1,585	1,943	2,540	2,781	10,444

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

イ 広域処理施設の整備

事業内容	廃棄物処理施設の更新時期にあわせ、広域処理施設の整備を行う。
効果	将来的に廃棄物の安定的かつ効率的な処理が図られることが期待される。
役割分担	各自治体が連携して検討及び協議の上、整備を行う。
補助制度等	

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
建設事業	名寄市	289,704	7,932	14,003	10,909	50,280	372,828
建設事業	下川町	67,788	1,826	3,224	2,510	9,709	85,057
建設事業	美深町	77,674	2,092	3,694	2,877	11,125	97,462
建設事業	音威子府村	43,685	1,177	2,077	1,618	6,257	54,814

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

I-5 その他

(3) 水道水質検査業務の連携

協定の内容	(取組の内容) 水道法に基づく適正かつ安定的な水道水質検査の実施を図るため、圏域内における水道水質検査業務の受委託を推進する。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 名寄市浄水場における水道水質検査業務の維持・確保を図るとともに、乙から水道水質検査業務を受託する。
	(乙の役割・剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町) 水道水質検査業務を甲に委託するとともに、水道水質検査業務への協力と応分の経費を負担する。

ア 水道水質検査業務

事業内容	水道水質検査業務の受委託を推進し、安全で安心な水道水の確保を図る。
効果	水道水質検査業務の受委託によって、圏域内における水質管理能力の向上が図られる。
役割分担	水道水質検査は名寄市が行う。 水道水質検査に必要な経費は各自治体が負担する。
補助制度等	

成果指標：水道水質検査業務受委託数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成27年度)	目標値 (令和7年度)
	受委託数	229件	213件

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
水道水質検査事業	名寄市	39,041	35,467	37,685	36,865	38,710	187,768
水道水質検査事業	士別市	0	0	0	0	0	0
水道水質検査事業	剣淵町	2,238	2,186	2,684	2,226	2,226	11,560
水道水質検査事業	下川町	1,709	1,958	2,349	2,142	2,280	10,438
水道水質検査事業	美深町	1,083	1,373	1,183	1,052	1,376	6,067
水道水質検査事業	音威子府村	651	776	659	659	659	3,404
水道水質検査事業	中川町	2,120	2,391	2,391	1,932	2,435	11,269

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

(4) 消費生活相談事業の連携

協定の内容	(取組の内容) 複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、広域的な取組を推進する。
	(甲の役割・名寄市) 甲が設置する名寄市消費者センターの広域化について、乙と連携して検討を行う。
	(乙の役割・下川町、美深町、音威子府村、中川町) 甲が行う消費生活相談窓口の広域化に向けた検討に参加するとともに、必要な協力を行う。

協定の内容	(取組の内容) 複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、広域的な取組を推進する。
	(甲の役割・士別市) 甲が設置する士別市消費生活センターを広域的に運営し、圏域内の消費者相談の充実や消費者教育・啓発の推進に努める。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、幌加内町) 甲が設置する士別市消費生活センターと連携を図り、圏域内の消費者相談の充実や消費者教育・啓発の推進に努めるとともに、応分の経費を負担する。

I-5 その他

ア 広域消費生活相談事業の推進

事業内容	複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、広域消費生活相談事業を推進する。
効果	広域消費生活相談事業の推進によって、圏域住民の消費生活の安定と向上が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	消費者行政強化事業補助金

成果指標：消費生活相談件数

重要業績評価指標 (K P I)	指標	基準値 (平成 27 年度)	目標値 (令和 7 年度)
	相談件数	567 件	509 件

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
消費生活相談事業の連携	名寄市	4,377	4,356	4,457	4,482	4,641	22,313
消費生活相談事業の連携	下川町	173	219	222	208	314	1,136
消費生活相談事業の連携	美深町	180	216	196	202	295	1,089
消費生活相談事業の連携	音威子府村	60	87	73	76	49	345
消費生活相談事業の連携	中川町	81	124	93	108	160	566
士別地区広域消費生活センター運営事業	士別市	5,396	5,625	5,858	6,109	6,270	29,258
士別地区広域消費生活センター運営事業	和寒町	974	1,015	1,057	1,102	1,131	5,279
士別地区広域消費生活センター運営事業	剣淵町	875	911	949	989	1,016	4,740
士別地区広域消費生活センター運営事業	幌加内町	414	430	448	468	480	2,240
消費者講座	中川町	0	0	0	0	0	0

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

1 地域公共交通

(1) 地域公共交通の確保

協 定 の 内 容	(取組の内容) 圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、バス路線の維持・確保や交通施設の整備、多様な交通手段の検討・実証・導入を行う。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 乙と連携してバス路線の維持・確保と利用促進に取り組むとともに、デマンド交通等の多様な交通手段の検討・実証・導入、複合交通センターの整備を行い、必要な情報を乙に提供する。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、幌加内町、西興部村、枝幸町、浜頓別町、中頓別町) 甲と連携してバス路線の維持・確保と利用促進に取り組むとともに、公共交通を結ぶデマンド交通等の多様な交通手段の検討・実証・導入、甲の取組に対する情報提供や住民周知を図る。

成果指標：バス等運行路線数の維持

重要業績評価指標 (K P I)	指標	基準値 (平成 27 年度)	目標値 (令和 7 年度)
		路線数	37 路線

II-1 地域公共交通

ア 生活バス路線の維持・確保

事業内容	乗合バス事業者等への支援等を通じ、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持・確保を図る。
効果	バス路線の維持・確保や交通施設の整備によって、圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	地域公共交通確保維持改善事業費補助金

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
名寄線代替バス運営協議会	名寄市	3,489	4,231	4,805	6,061	7,125	25,711
地域生活バス路線運行事業	士別市	30,536	31,520	34,885	35,094	36,146	168,181
生活交通路線維持運行補助事業	和寒町	943	0	0	5,892	7,092	13,927
町営バスの運行事業	和寒町	32,978	33,717	35,248	36,640	39,995	178,578
生活交通路線維持費補助事業	剣淵町	834	0	0	5,212	8,412	14,458
名寄線代替バス運営協議会	下川町	8,665	10,509	11,938	15,059	15,985	62,156
コミュニティバスの運行	下川町	3,869	3,989	3,798	3,305	3,940	18,901
恩根内線生活バス路線維持事業補助	美深町	8,752	7,844	8,530	5,621	8,315	39,062
生活バス路線仁宇布線運行事業補助	美深町	5,585	5,100	3,863	5,351	6,163	26,062
地域バス運行業務委託事業	音威子府村	7,590	6,671	7,358	7,358	10,727	39,704
名寄線代替バス運営協議会	西興部村	7,901	9,581	10,884	13,730	14,575	56,671

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

Ⅱ-1 地域公共交通

イ 多様な交通手段の確保

事業内容	圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、多様な交通手段の検討・実証・導入を推進する。
効果	多様な交通手段の検討・実証・導入によって、圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上が図られる。
役割分担	各自治体が必要に応じて経費を負担する。
補助制度等	地域公共交通確保維持改善事業費補助金

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
士別市地域公共交通活性化協議会	士別市	150	200	720	603	200	1,873
乗合自動車運行事業	剣淵町	4,426	5,428	6,451	5,024	6,643	27,972
乗合タクシー運行事業	下川町	7,287	6,708	6,648	4,740	5,080	30,463
市街地バス運行事業	美深町	6,804	7,096	7,161	7,326	7,326	35,713
自家用有償旅客運送事業	幌加内町	7,600	6,628	6,581	4,958	5,906	31,673

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

II-1 地域公共交通

ウ 複合交通センター管理運営

事業内容	高速バスや路線バスの拠点となる複合交通センターの管理運営及び関連事業を実施する。
効果	複合交通センターの管理運営及び関連事業の展開によって、圏域への人の流入を促進し、交流人口の拡大が期待される。
役割分担	複合交通センターの管理運営は名寄市が行う。
補助制度等	

成果指標：施設利用者数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成 27 年度)	目標値 (令和 7 年度)
	利用者数	66 千人	64 千人

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
複合交通センター管理運営事業	名寄市	30,579	30,579	30,903	32,942	32,942	157,945
バス路線待合所管理委託	名寄市	1,120	1,126	1,139	1,141	1,272	5,798
複合交通センター連携・活用事業	下川町	0	0	0	0	0	0
複合交通センター連携・活用事業	美深町	→	→	→	→	→	→
複合交通センター連携・活用事業	音威子府村	0	0	0	0	0	0
複合交通センター連携・活用事業	幌加内町	0	0	0	0	0	0
複合交通センター連携・活用事業	枝幸町	→	→	→	→	→	→
複合交通センター連携・活用事業	浜頓別町	0	0	0	0	0	0
複合交通センター連携・活用事業	中頓別町	0	→	→	→	→	→

※各事業については、令和 4 年 3 月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

II-2 道路等の交通インフラの整備

2 道路等の交通インフラの整備

(1) 交通ネットワークの形成

協定の内容	(取組の内容) 圏域内の利便性の向上や医療・経済等の圏域拡大に向け、効率的な交通ネットワークの形成に向けた取組を推進する。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 乙及び関係市町村と連携して、北海道縦貫自動車道や圏域市町村を結ぶ国道・道道などの幹線道路網の整備、JR宗谷本線の高速化などの促進に向けた取組において、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、西興部村、枝幸町、浜頓別町、中頓別町) 甲及び関係市町村と連携して、圏域の効率的な交通ネットワークの形成に向けた取組を推進する。

成果指標：要望活動回数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成27年度)	目標値 (令和7年度)
	要望活動回数	4回	—

ア 各種期成会活動の推進

事業内容	各種期成会活動を通じ、北海道縦貫自動車道や圏域市町村を結ぶ国道・道道などの幹線道路網の整備、JR宗谷本線の高速化などの促進を図る。
効果	幹線道路網の整備やJR宗谷本線の高速化などの促進によって、圏域内における交通の利便性向上が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会	名寄市	87	87	87	87	87	435
北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会	士別市	83	83	83	83	83	415
北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会	和寒町	46	46	46	46	46	230
北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会	剣淵町	46	46	46	46	46	230
北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会	枝幸町	0	0	0	0	0	0
北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会	浜頓別町	0	0	0	0	0	0
北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会	中頓別町	0	0	0	0	0	0
高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会	名寄市	88	88	88	88	86	438
高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会	士別市	81	81	81	81	79	403
高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会	和寒町	38	38	38	38	36	188

Ⅱ-2 道路等の交通インフラの整備

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会	剣淵町	38	38	38	38	36	188
高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会	下川町	15	15	15	15	13	73
高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会	美深町	15	15	15	15	13	73
高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会	音威子府村	15	15	15	15	13	73
高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会	中川町	15	15	15	15	15	75
一般国道 40 号名寄・稚内間整備促進期成会	名寄市	108	108	108	108	108	540
一般国道 40 号名寄・稚内間整備促進期成会	美深町	44	44	44	44	44	220
一般国道 40 号名寄・稚内間整備促進期成会	音威子府村	29	29	29	29	29	145
一般国道 40 号名寄・稚内間整備促進期成会	中川町	53	53	53	53	53	265
宗谷本線活性化推進協議会	名寄市	40	40	1,123	1,123	40	2,366
宗谷本線活性化推進協議会	士別市	40	40	704	704	40	1,528
宗谷本線活性化推進協議会	和寒町	20	20	368	368	20	796
宗谷本線活性化推進協議会	剣淵町	20	20	164	164	20	388
宗谷本線活性化推進協議会	下川町	20	20	20	20	20	100
宗谷本線活性化推進協議会	美深町	20	20	794	794	20	1,648
宗谷本線活性化推進協議会	音威子府村	20	20	716	716	20	1,492
宗谷本線活性化推進協議会	中川町	20	20	716	716	20	1,492
宗谷本線活性化推進協議会	幌加内町	20	20	20	20	20	100
宗谷本線活性化推進協議会	西興部村	20	20	20	20	20	100
宗谷本線活性化推進協議会	枝幸町	20	20	20	20	20	100
宗谷本線活性化推進協議会	浜頓別町	20	20	20	20	20	100
宗谷本線活性化推進協議会	中頓別町	20	20	20	20	20	100
道路整備促進協会	名寄市	50	42	51	36	53	232
道路整備促進協会	士別市	35	42	46	64	38	225
道路整備促進協会	和寒町	43	34	22	21	11	131
道路整備促進協会	剣淵町	41	9	7	7	4	68
道路整備促進協会	下川町	6	8	10	13	21	58
道路整備促進協会	美深町	14	13	14	22	29	92
道路整備促進協会	音威子府村	397	349	205	205	165	1,321
道路整備促進協会	中川町	429	400	400	220	224	1,673
道路整備促進協会	幌加内町	11	11	11	45	54	132
道路整備促進協会	西興部村	17	10	13	16	26	82
道路整備促進協会	枝幸町	19	13	24	33	37	126
道路整備促進協会	浜頓別町	26	26	26	28	24	130

※各事業については、令和 4 年 3 月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

II-3 地域内外の住民との交流・移住促進

3 地域内外の住民との交流・移住促進

(1) 地域内外の住民との交流促進

協 定 の 内 容	(取組の内容) 圏域内外の住民との交流を促進するため、北海道遺産であり、圏域中央を南北に縦断する天塩川等を生かしたイベント等の取組や交流施設の維持・整備を推進するとともに、圏域内の情報交換を促進する。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 交流施設の維持・整備及びイベント等を開催するとともに、圏域内の情報を収集し乙への情報提供と甲の住民への周知を図る。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、西興部村) 交流施設の維持・整備及びイベント等を開催するとともに、甲が提供する情報を乙の住民に周知する。

ア 地域内外の住民との交流促進

事 業 内 容	交流施設の維持・整備及びイベント等の開催を推進し、圏域内外の住民との交流を促進する。また、北海道移住交流推進協議会等と連携し、圏域内への移住を促進する。
効 果	交流施設の維持・整備やイベント等の取り組みによって、交流人口の拡大と圏域内への移住が期待される。
役 割 分 担	各自自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	都市交流等事業債

成果指標：圏域内自治体連携イベント開催数

重要業績評価指標 (K P I)	指標	基準値 (平成 27 年度)	目標値 (令和 7 年度)
	開催数	4 件	7 件

【事業費】

(単位：千円)

事 業 名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
北海道移住交流推進協議会負担金	名寄市	50	50	50	50	50	250
北海道移住交流推進協議会負担金	士別市	50	50	50	50	50	250
交流施設改修	和寒町	0	0	0	0	0	0
北海道移住交流推進協議会負担金	和寒町	50	50	50	50	50	250
北海道移住交流推進協議会負担金	剣淵町	-	-	50	50	50	150
北海道移住交流推進協議会負担金	下川町	50	50	50	50	50	250
研修交流施設整備事業	下川町	341,744	0	0	0	0	341,744
五味温泉改修事業	下川町	0	0	0	0	0	0
移住推進事業交付金	美深町	850	850	850	600	520	3,670
地域間交流推進事業負担金	音威子府村	322	335	325	325	310	1,617
地域間交流推進事業負担金	中川町	215	410	400	377	377	1,779
北海道移住交流推進協議会負担金	幌加内町	50	50	50	50	50	250

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

II-3 地域内外の住民との交流・移住促進

イ 天塩川だよりの発行

事業内容	各自治体広報紙面等を使用して「天塩川だより」を発行し、各市町村の魅力やイベント情報を圏域住民に提供する。
効果	各市町村の魅力やイベント情報の提供によって、交流人口の拡大が期待される。
役割分担	各自治体が相互に情報提供を行う。
補助制度等	

成果指標：圏域内自治体イベント掲載数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成27年度)	目標値 (令和7年度)
	掲載数	106件	106件

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
天塩川だよりの発行	名寄市	0	0	0	0	0	0
天塩川だよりの発行	士別市	0	0	0	0	0	0
天塩川だよりの発行	和寒町	0	0	0	0	0	0
天塩川だよりの発行	剣淵町	0	0	0	0	0	0
天塩川だよりの発行	下川町	0	0	0	0	0	0
天塩川だよりの発行	美深町	0	0	0	0	0	0
天塩川だよりの発行	音威子府村	0	0	0	0	0	0
天塩川だよりの発行	中川町	0	0	0	0	0	0
天塩川だよりの発行	幌加内町	0	0	0	0	0	0
天塩川だよりの発行	西興部村	0	0	0	0	0	0

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

II-4 圏域生活基盤維持対策

4 圏域生活基盤維持対策

(1) 物流網効率化の推進

協定の内容	(取組の内容) 積雪、広域分散型などの地域特性、片荷輸送の問題及びドライバー不足等により輸送コストの上昇や物流網そのものの維持が困難になってくることも考えられることから、物流網の効率化に向けた取組を行う。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 乙及び関係機関・団体と連携して圏域の物流網の効率化に向けた取組を行う。
	(乙の役割・下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、西興部村、枝幸町、浜頓別町、中頓別町) 甲と連携して各自治体において物流網の効率化に向けた取組を行う。

ア 圏域物流研究

事業内容	圏域住民が安心して暮らし続けられるよう、今後の圏域における物流の目指していく姿や方向性について官民連携し、研究・情報共有を行う。
効果	必要に応じて国、北海道及び民間事業者を交えて研究及び協議を行うことにより、サービスの維持及び物流網の効率化が図られる。
役割分担	各自治体が連携して検討及び協議を行う。
補助制度等	

成果指標：圏域物流勉強会開催数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 7 年度)
	開催数	0 件	1 件

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
圏域物流勉強会	名寄市	0	0	0	0	0	0
圏域物流勉強会	下川町	0	0	0	0	0	0
圏域物流勉強会	美深町	0	0	0	0	0	0
圏域物流勉強会	音威子府村	0	0	0	0	0	0
圏域物流勉強会	中川町	0	0	0	0	0	0
圏域物流勉強会	幌加内町	0	0	0	0	5	5
圏域物流勉強会	西興部村	0	0	0	0	0	0
圏域物流勉強会	枝幸町	0	0	0	0	0	0
圏域物流勉強会	浜頓別町	0	0	0	0	0	0
圏域物流勉強会	中頓別町	0	0	0	0	0	0

※各事業については、令和 4 年 3 月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

II-4 圏域生活基盤維持対策

(2) 防災

協定の内容	(取組の内容) 近年、激化する自然災害を鑑み、災害時に必要な情報の共有、人的・物的支援をより効果的かつ効率的に行うとともに迅速な対応に資するため、相互応援体制の整備・強化を図りつつ圏域の防災力を向上させ、安全・安心な暮らしの確保を図る。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 防災・減災に関する情報の共有に向けて連絡調整を行うとともに、乙と協力して相互応援体制などの整備・強化を図るほか、広域防災力の向上に資する取組を行う。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、西興部村、枝幸町、浜頓別町、中頓別町) 防災・減災に関する情報の共有に向けて情報を提供するとともに、甲と協力して相互応援などに関する取組を実施する。また、広域防災力の向上に資する取組を行う。

ア 天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修

事業内容	自治体職員等を対象に、防災及び気象情報並びに河川情報等に関する基礎知識を学び、より実践的な危機管理講習を行うなかから、激化する自然災害に対応できる防災体制の強化を図る。
効果	防災・災害対応等に従事する担当者の育成・技術の継承が図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

成果指標：天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修の実施

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成29年度)	目標値 (令和7年度)
	開催数	1回	1回

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修	名寄市	0	0	0	0	0	0
天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修	士別市	0	0	0	0	0	0
天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修	和寒町	0	0	0	0	0	0
天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修	剣淵町	0	0	0	0	0	0
天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修	下川町	0	0	0	0	0	0
天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修	美深町	0	0	0	0	0	0
天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修	音威子府村	0	0	0	0	0	0
天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修	中川町	0	0	0	0	0	0
天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修	幌加内町	0	0	0	0	3	3

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

Ⅱ-4 圏域生活基盤維持対策

イ 災害時の相互応援体制の整備

事業内容	大規模災害発生時には、必要な情報の共有、災害備蓄品や避難施設の提供、資機材の相互利用及び職員の派遣などの相互応援を行う。また、災害時に迅速な対応を図るため、平常時より情報交換や事業の連携を進め、広域防災体制の整備と強化を図る。
効果	災害時における相互応援体制を整備し、各自治体が必要な経費を負担する。
役割分担	各自治体が連携して検討及び協議を行う。
補助制度等	地域づくり総合交付金

成果指標：災害時相互応援体制の履行

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成29年度)	目標値 (令和7年度)
	災害時相互応援 対策の履行	—	必要に応じて履行

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	総事業費
防災資機材等整備事業	名寄市	—	—	6,839	9,029	1,056	16,924
災害対策推進事業	士別市	1,017	9,763	8,214	2,605	1,863	23,462
備蓄資材整備事業	和寒町	1,490	129	169	3,485	241	5,514
災害備蓄品等整備事業	剣淵町	—	—	—	3,880	329	4,209
デジタル防災行政無線更新事業	剣淵町	—	—	—	213,950	0	213,950
地域防災計画及び避難所運営マニュアル策定事業	剣淵町	—	—	—	7,150	1,067	8,217
危機管理対策事業	下川町	7,267	6,686	1,431	6,445	2,950	24,779
防災資材等整備事業	美深町	2,292	2,606	2,952	247	558	8,655
災害時相互応援体制整備事業	音威子府村	→	→	→	→	→	→
災害時備蓄品・資機材整備事業	中川町	1,320	3,374	3,891	7,087	705	16,377
防災備蓄品購入事業	幌加内町	336	1,912	822	5,069	1,663	9,802
防災資機材等整備事業	西興部村	—	—	—	601	0	601
防災資機材等整備事業	枝幸町	—	—	—	—	0	0
災害時相互応援体制整備事業	浜頓別町	→	→	→	→	→	→
災害時相互応援体制整備事業	中頓別町	→	→	→	→	→	→

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

Ⅲ-1 宣言中心市等における人材の育成

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

1 宣言中心市等における人材の育成

(1) 大学と連携した人材育成

協定の内容	<p>(取組の内容)</p> <p>圏域に必要な人材育成を図るため、名寄市立大学と連携して、保健・医療・福祉の人材を育成・確保するとともに、圏域住民に対する学習機会や学習情報の提供、地域福祉の向上や地域振興の取組を推進する。</p>
	<p>(甲の役割・名寄市、士別市)</p> <p>名寄市立大学を運営し、圏域に必要な保健・医療・福祉の人材育成や講師派遣、圏域住民を対象とした講座や講演会等を開催し、乙と連携して地域福祉の向上、地域振興を促進させる取組を行う。また、大学機能を充実させるため、図書館等の整備を推進する。</p>
	<p>(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、西興部村、枝幸町、浜頓別町、中頓別町)</p> <p>名寄市立大学が提供する学習機会や学習情報等を乙の住民に周知するとともに、必要に応じて名寄市立大学と連携した取組を推進する。また、名寄市立大学が行う実習等の受入に協力する。</p>

Ⅲ-1 宣言中心市等における人材の育成

ア 公開講座等による研修機会の提供

事業内容	名寄市立大学における公開講座等の開催により、圏域住民に対する研修機会を提供する。また、大学機能の向上のため、必要な校舎や大学図書館等の整備等を行う。
効果	圏域に必要な保健・医療・福祉などの人材育成が図られる。
役割分担	公開講座等の開催と大学整備は名寄市が行う。 公開講座等の参加に必要な経費は各自治体が負担する。
補助制度等	地域活性化事業債

成果指標：公開講座参加者数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成 27 年度)	目標値 (令和 7 年度)
	参加者数	256 人	300 人

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
公開講座等開催事業	名寄市	237	76	77	148	400	938
大学校舎・図書館等整備事業	名寄市	1,362,463	71,119	108,564	10,208	4,484	1,556,838
公開講座等参加事業	士別市	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	和寒町	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	剣淵町	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	下川町	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	美深町	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	音威子府村	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	中川町	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	幌加内町	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	西興部村	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	枝幸町	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	浜頓別町	0	0	0	0	0	0
公開講座等参加事業	中頓別町	0	0	0	0	0	0

※各事業については、令和 4 年 3 月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

Ⅲ-1 宣言中心市等における人材の育成

イ 講師派遣

事業内容	圏域住民に対する学習機会や学習情報を提供するため、名寄市立大学から圏域市町村に講師等を派遣する。
効果	名寄市立大学と連携した取り組みによって、圏域に必要な保健・医療・福祉などの人材育成が図られる。
役割分担	各自治体が講師派遣に必要な経費を負担する。
補助制度等	

成果指標：講師派遣数

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値 (平成 27 年度)	目標値 (令和 7 年度)
	派遣数	22 人	30 人

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
講師派遣事業	士別市	→	→	→	→	→	→
講師派遣事業	和寒町	0	0	0	0	0	0
講師派遣事業	剣淵町	0	→	→	→	→	→
講師派遣事業	下川町	→	→	→	→	→	→
講師派遣事業	美深町	0	0	0	0	0	0
講師派遣事業	音威子府村	0	0	0	0	0	0
講師派遣事業	中川町	0	0	0	0	0	0
講師派遣事業	幌加内町	0	0	0	0	0	0
講師派遣事業	西興部村	0	0	0	0	0	0
講師派遣事業	枝幸町	0	0	0	0	0	0
講師派遣事業	浜頓別町	0	0	0	0	0	0
講師派遣事業	中頓別町	39	138	0	0	0	177

※各事業については、令和 4 年 3 月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

Ⅲ-1 宣言中心市等における人材の育成

(2) 職員研修

協定の内容	(取組の内容) 職員の資質向上と職員間のネットワークを強化するため、圏域職員を対象とする合同研修会を開催する。
	(甲の役割・名寄市、士別市) 乙と連携して圏域職員を対象とした合同研修会を開催する。
	(乙の役割・和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、西興部村、枝幸町、浜頓別町、中頓別町) 合同研修会に職員を参加させるとともに、当該研修会開催に必要な協力と応分の経費を負担する。

ア 職員合同研修会

事業内容	職員の資質向上と職員間のネットワークを強化するため、圏域職員を対象とした合同研修会を開催する。
効果	圏域における合同研修会の開催によって、職員の資質向上と職員間のネットワークが図られる。
役割分担	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等	

成果指標：合同研修参加者数

重要業績評価指標 (K P I)	指標	基準値 (平成 27 年度)	目標値 (令和 7 年度)
	参加者数	160 人	160 人

【事業費】

(単位：千円)

事業名	事業主体	H 29 年	H 30 年	R 元年	R 2 年	R 3 年	総事業費
職員合同研修事業	名寄市	350	95	59	231	300	1,035
職員合同研修事業	士別市	312	243	265	473	457	1,750
職員合同研修事業	和寒町	133	108	16	0	125	382
職員合同研修事業	剣淵町	102	119	101	86	79	487
職員合同研修事業	下川町	58	62	54	18	49	241
職員合同研修事業	美深町	218	177	97	40	61	593
職員合同研修事業	音威子府村	0	100	100	100	50	350
職員合同研修事業	中川町	113	80	80	40	132	445
職員合同研修事業	幌加内町	35	47	52	18	25	177
職員合同研修事業	西興部村	27	21	13	17	16	94
職員合同研修事業	枝幸町	0	0	8	14	0	22
職員合同研修事業	浜頓別町	100	100	100	100	100	500
職員合同研修事業	中頓別町	449	829	834	230	600	2,942

※各事業については、令和4年3月時点の見込みであり、今後変更する可能性があるものとする。また、事業費が明確でないものについては→で表記している。

資 料

		<p>下川町 12月19日 美深町 12月14日 音威子府村 12月13日 中川町 12月12日 幌加内町 12月13日 西興部村 12月13日 枝幸町 12月12日 浜頓別町 12月13日 中頓別町 12月13日</p>		
	2月18日	北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会 北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン第2回変更		名寄市
令和元年度	10月3日 11月5日 2月18日	北・北海道中央圏域定住自立圏構成市町村担当課長会議 北・北海道中央圏域定住自立圏構成市町村長会議 北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会 北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン第3回変更		名寄市 名寄市 名寄市
令和2年度	7月27日 11月6日 11月・12月	北・北海道中央圏域定住自立圏構成市町村担当課長会議 北・北海道中央圏域定住自立圏構成市町村長会議 圏域自治体による協定の変更に関する議決 各自自治体の議決日 <p>名寄市 11月30日 士別市 11月27日 和寒町 12月17日 剣淵町 12月17日 下川町 12月23日 美深町 12月15日 音威子府村 12月10日 中川町 12月10日 幌加内町 12月10日 西興部村 12月15日 枝幸町 12月10日 浜頓別町 12月10日 中頓別町 12月9日</p>		士別市 名寄市
	2月 3月28日	北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会（書面） 北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン第4回変更		

令和3年度	7月16日	北・北海道中央圏域定住自立圏構成市町村担当課長会議	名寄市
	11月2日	北・北海道中央圏域定住自立圏構成市町村長会議	名寄市
	3月	北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会	名寄市
	3月	北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン策定	

北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(設置)

第1条 名寄市及び士別市は、定住自立圏形成協定により形成された北・北海道中央圏の将来像及び当該協定に基づき推進する具体的な取組内容等を記載する定住自立圏共生ビジョンの策定に関して、関係者等の意見を反映するため、北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(職務)

第2条 懇談会は、北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョンの策定又は変更に関する事項について検討を行う。

(組織)

第3条 懇談会は、委員22人以内をもって組織する。

2 委員は、定住自立圏形成協定に関連する分野の関係者等の中から、名寄市長及び士別市長が依頼する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(座長及び副座長)

第5条 懇談会に、座長及び副座長を各1人置く。

2 座長は委員の互選により定め、副座長は座長が指名する委員をもって充てる。

3 座長は、会務を総括する。

4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議は、座長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(庶務)

第7条 懇談会の庶務は、名寄市総合政策部総合政策課及び士別市総務部企画課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に必要な事項は、座長が別に定める。

附則
この要綱は、平成23年12月12日から施行する。

附則
この要綱は、平成29年11月15日から施行する。

附則
この要綱は、平成30年10月26日から施行する。

附則
この要綱は、令和元年11月5日から施行する。

北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

(任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

市町村名	座長 副座長	団 体 名	職名	氏 名	分 野	備 考
和寒町		公民館運営審議会兼社会教育委員	委員長	土 井 一 光	教育関係	
剣淵町		国民健康保険剣淵町立診療所 運営委員会	委員	野 口 豊	医療関係	
下川町		下川町総合計画審議会	会長	麻 生 翼	その他	
美深町		美深町地域公共交通活性化協議会	委員	馬 場 義 人	地域公共交通	
音威子府村		音威子府村社会福祉協議会	事務局長	桑 村 清	福祉関係	
中川町		中川町町内会連合会	会長	加 藤 貢	地域コミュニティ 活動関係	
幌加内町		幌加内町地域公共交通会議	委員	宮 下 卓 久	地域公共交通	
西興部村		西興部村社会教育委員		田 尾 司	教育関係	
枝幸町		学識経験		合 田 肇	その他	
浜頓別町		浜頓別連合自治会	会長	阿 部 忠 夫	地域コミュニティ 活動関係	
中頓別町		中頓別町総合開発委員会	委員	高 橋 直 己	その他	
士別市		士別市振興審議会	副会長	谷 温 恵	その他	
		士別市保健医療福祉対策協議会	会長	斉 木 勲	福祉関係	
		士別観光協会	副会長	木 村 友 洋	産業振興関係	
		レンタルハウス農土家	代表	佐久間 弘 美	交流関係	
		士別市商工業振興審議会	委員	志 村 富美恵	産業振興関係	
名寄市		名寄市立総合病院運営委員会	委員	松 前 聡 美	医療関係	
		名寄市保健医療福祉推進協議会	副会長	菊 池 隆	福祉関係	
		社会教育委員	委員	早 川 正 一	教育関係	
		なよろ観光まちづくり協会	副理事長	高 橋 雅 樹	産業振興関係	
		名寄市地域公共交通活性化協議会	委員	南 原 眞 一	地域公共交通	
		名寄市立大学	教授	結 城 佳 子	学識経験者	

北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン

令和4年3月発行

名寄市総合政策部総合政策課

〒096-8686 名寄市大通南1丁目1番地

TEL : 01654-3-2111

FAX : 01654-2-5644

士別市総務部企画課

〒095-8686 士別市東6条4丁目1番地

TEL : 0165-26-7791

FAX : 0165-22-1934